

【資料1】

第2期川越市子ども・子育て支援事業計画
令和2年度達成状況及び計画達成状況

令和3年8月現在

川越市こども未来部こども政策課

《目次》

1. 第2期川越市子ども・子育て支援事業計画体系図	1
2. 達成状況総括表	2
3. 事業計画・重点・未来該当事業の達成状況	3～5
4. 事業別達成状況等	6～22
5. 教育・保育の量の見込みと確保方策実績	23～25
6. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策実績	26～27
7. 時間外保育事業（延長保育事業）の量の見込みと確保方策実績	28
8. 放課後児童健全育成事業（学童保育事業）の量の見込みと確保方策実績	29～32
9. 地域子育て支援拠点事業の量の見込みと確保方策実績	33～35

1. 第2期川越市子ども・子育て支援事業計画体系図

[基本理念]

[視点]

[基本目標]

[施策目標]

安心して子育てができるまち川越

1 3
すべての子どもが夢や希望を持ち成長できるための支援
ライフステージに応じた子どもの利益の尊重と生きる力の獲得
2
地域社会全体による子育て・親育ちへの支援

1 妊娠期からの切れ目ない支援と親子のふれあいの機会の充実

(1) 切れ目ない支援による子どもと親の健康の確保・増進

(2) 愛情を育む親子のふれあいの機会の充実

2 幼児期の教育・保育の充実と保護者への支援

(1) 教育・保育の充実と質的向上

(2) 多様な保育事業の推進

(3) 子育て支援サービスの充実

3 心身の健やかな成長に資する教育環境の整備

(1) 学校教育の充実

(2) 健やかな成長のための保健対策の推進

(3) 家庭や地域による教育力の向上

(4) 放課後の子どもの居場所づくり

4 地域と社会で子育てを支える環境づくり

(1) 少子化対策の推進と次代の親の育成

(2) 子どもの健全育成の取組と若者への支援

(3) 安全・安心なまちづくり

(4) 多文化共生の推進

5 すべての子どもの未来をつくる取組の推進

(1) 子育て家庭の自立等への支援

(2) 子どもの可能性を支える取組の推進

(3) 子どもを虐待から守る取組の推進

(4) 障害児施策の充実と支援体制整備の推進

2. 達成状況総括表

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

(単位:千円)

基本目標・施策目標	事業数	評価数	R2達成状況					計画達成状況					R2	R3	R4	R5	R6	
			A	B	C	D	E	a	b	c	d	e	予算・決算	予算・決算	予算・決算	予算・決算	予算・決算	
			上段:予算 下段:決算	上段:予算 下段:決算	上段:予算 下段:決算	上段:予算 下段:決算	上段:予算 下段:決算	上段:予算 下段:決算	上段:予算 下段:決算	上段:予算 下段:決算	上段:予算 下段:決算	上段:予算 下段:決算	上段:予算 下段:決算	上段:予算 下段:決算	上段:予算 下段:決算	上段:予算 下段:決算	上段:予算 下段:決算	上段:予算 下段:決算
基本目標1 妊娠期からの切れ目ない支援と親子のふれあいの機会の充実	26	26	13	7	3	3	0	13	7	3	3	0	2,229,908					
施策目標			50%	27%	12%	12%	0%	50%	27%	12%	12%	0%	1,979,656					
(1) 切れ目ない支援による子どもと親の健康の確保・増進	20	20	12	4	3	1	0	12	4	3	1	0						
(2) 愛情を育む親子のふれあいの機会の充実	6	6	1	3	0	2	0	1	3	0	2	0						
基本目標2 幼児期の教育・保育の充実と保護者への支援	31	31	17	3	7	4	0	17	3	7	4	0	3,050,289					
施策目標			55%	10%	23%	13%	0%	55%	10%	23%	13%	0%	2,811,752					
(1) 教育・保育の充実と質的向上	14	14	8	1	2	3	0	8	1	2	3	0						
(2) 多様な保育事業の推進	10	10	4	2	3	1	0	4	2	3	1	0						
(3) 子育て支援サービスの充実	7	7	5	0	2	0	0	5	0	2	0	0						
基本目標3 心身の健やかな成長に資する教育環境の整備	22	25	11	6	5	3	0	11	6	5	3	0	1,061,447					
施策目標			44%	24%	20%	12%	0%	44%	24%	20%	12%	0%	984,352					
(1) 学校教育の充実	6	6	2	2	2	0	0	2	2	2	0	0						
(2) 健やかな成長のための保健対策の推進	3	6	4	1	1	0	0	4	1	1	0	0						
(3) 家庭や地域による教育力の向上	7	7	1	2	2	2	0	1	2	2	2	0						
(4) 放課後の子どもの居場所づくり	6	6	4	1	0	1	0	4	1	0	1	0						
基本目標4 地域と社会で子育てを支える環境づくり	25	26	12	3	5	6	0	12	3	5	6	0	141,193					
施策目標			46%	12%	19%	23%	0%	46%	12%	19%	23%	0%	95,802					
(1) 少子化対策の推進と次代の親の育成	11	11	5	2	0	4	0	5	2	0	4	0						
(2) 子どもの健全育成の取組と若者への支援	6	6	2	1	3	0	0	2	1	3	0	0						
(3) 安全・安心なまちづくり	5	6	5	0	1	0	0	5	0	1	0	0						
(4) 多文化共生の推進	3	3	0	0	1	2	0	0	0	1	2	0						
基本目標5 すべての子どもの未来をつくる取組の推進	46	46	28	7	8	3	0	28	7	8	3	0	14,831,778					
施策目標			61%	15%	17%	7%	0%	61%	15%	17%	7%	0%	14,502,724					
(1) 子育て家庭の自立等への支援	15	15	11	0	2	2	0	11	0	2	2	0						
(2) 子どもの可能性を支える取組の推進	7	7	5	1	1	0	0	5	1	1	0	0						
(3) 子どもを虐待から守る取組の推進	11	11	5	3	2	1	0	5	3	2	1	0						
(4) 障害児施策の充実と支援体制整備の推進	13	13	7	3	3	0	0	7	3	3	0	0						
【合計】 評価数＝事業所管課数(1事業複数所管課含む) 達成状況(5段階評価)は、各所管課で評価を行っています。	150	154	81	26	28	19	0	81	26	28	19	0	21,314,616					
			53%	17%	18%	12%	0%	53%	17%	18%	12%	0%	20,374,285					

3. 事業計画・重点・未来該当事業の達成状況

【事業計画】…教育保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業。

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業。すべての重点事業に目標事業量を設定している。

【未来】…子どもの貧困に関する事業。

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	施策 目標 No.	事業名	新規	事業 計画	重点	未来	達成状況		遅れている理由	新型 コロナ 影響有無	担当課
							R	2			
1	(1)	1 乳幼児健診				○		A			健康づくり支援課
1	(1)	2 乳児家庭全戸訪問事業		○	○	○		A			健康づくり支援課
1	(1)	4 産後ケア事業				○		C	想定以上に利用者が増えなかったため。受託者により新型コロナウイルス感染症の防止対策をとっている事業であるため、新型コロナウイルス感染症の影響はない。		健康づくり支援課
1	(1)	5 子育て世代包括支援センター				○	○	A			健康づくり支援課
1	(1)	6 利用者支援事業(母子保健型)		○				A			健康づくり支援課
1	(1)	8 妊婦健康診査		○				A			健康づくり支援課
1	(1)	13 家庭訪問型子育て支援事業(ホームスタート)	○		○			C	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、訪問について、利用時間や活動内容の制限等を行ったことから、利用者数が少なかったため。	○	こども育成課
1	(2)	1 地域子育て支援拠点事業		○	○			A			こども育成課
1	(2)	6 産前・産後サポート事業				○	○	B	新型コロナウイルス感染症防止のため、回数が減少したため。	○	健康づくり支援課
2	(1)	1 通常保育事業		○	○			A			こども政策課 保育課
2	(1)	3 保育士研修				○		C	新型コロナウイルス感染症による影響で大規模な4回の研修会の実施を中止したため。	○	保育課
2	(1)	4 認定こども園の推進		○				A			こども政策課 保育課
2	(1)	5 幼稚園事業の推進		○				A			こども政策課 保育課
2	(1)	7 地域型保育事業		○				A			こども政策課 保育課
2	(1)	8 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業		○				D	本事業の対象となる新規事業者等がなかったため。		こども政策課 保育課
2	(1)	9 未就学児に対する食育の推進				○		C	コロナ禍により栄養士の巡回を控えることとしたため。	○	保育課 健康づくり支援課
2	(2)	1 時間外保育事業(延長保育事業)		○				A			保育課
2	(2)	3 保育所等における一時預かり事業		○	○			A			保育課
2	(2)	4 幼稚園等における一時預かり・預かり保育事業		○	○			B	コロナ禍により利用の縮小が見られたため。	○	保育課
2	(2)	6 病児保育事業		○				C	新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用の自粛等により、利用者数が減少したため。	○	こども育成課
2	(2)	7 ファミリー・サポート・センター事業		○				C	新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用の自粛等により、利用者数が減少したため。	○	こども育成課
2	(2)	8 子育て短期支援事業		○				C	新型コロナウイルス感染症の影響下においても、感染予防対策を講じたうえで事業を継続したが、主にトワイライトステイ事業で利用申込みが大幅に減少したため。	○	こども家庭課

【事業計画】…教育保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業。
 【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業。すべての重点事業に目標事業量を設定している。
 【未来】…子どもの貧困に関する事業。

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 策 目 標	施 策 目 標 No.	事業名	新規	事業計画		重点	未来	達成状況		遅れている理由	新型コロナウイルス 影響有無	担当課
				○	○			R	2			
2	(3)	1			○	○		A				こども育成課 保育課
2	(3)	2				○		A				こども政策課
3	(1)	1				○		C	予算の範囲内で事業を実施したが、目標としていた配置校数に至らなかったため。			学校管理課
3	(1)	2				○	○	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月～6月までの活動に制限が生じたため。	○		教育センター
3	(2)	1				○		A				教育指導課 学校給食課 教育センター
3	(3)	1			○	○		D	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中学生社会体験事業を中止としたため。	○		教育指導課
3	(3)	6	○			○		A				学校管理課
3	(3)	7				○	○	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者を一堂に集めることができず、各地区の子どもサポート委員会において多くの事業が中止となったため。	○		地域教育支援課
3	(4)	1			○	○		A				教育財務課 こども育成課
3	(4)	4	○			○		D	令和3年度7月開設の子育て安心施設において、事業を実施する予定であるため。			こども育成課
4	(1)	5				○		D	新型コロナウイルス感染症の影響により、講座が実施できなかったため。	○		男女共同参画課 雇用支援課
4	(2)	1				○		C	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各地区で中止した事業が多かったため。	○		こども育成課
4	(3)	2				○		C	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校等で交通安全教室が中止となったため。	○		防犯・交通安全課
4	(4)	1	○		○			C	コロナ禍により、年間を通じて教室を開催できなかったため。	○		国際文化交流課
5	(1)	2				○		A				こども家庭課
5	(1)	5				○		A				こども家庭課
5	(1)	6				○		D	利用に係る相談がなかったため。			こども家庭課
5	(1)	7				○		A				こども家庭課
5	(1)	8			○	○		C	センター事業のうち、就労支援パソコン講座については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は中止したため。	○		こども家庭課

【事業計画】…教育保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業。
 【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業。すべての重点事業に目標事業量を設定している。
 【未来】…子どもの貧困に関する事業。

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	施策 目標	No.	事業名	新規	事業 計画	重点	未来	達成状況		遅れている理由	新型コロナ 影響有無	担当課
								R	2			
5	(1)	9	ひとり親家庭等生活向上事業				○	D		新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度中は事業を中止したため。	○	こども家庭課
5	(1)	10	自立支援給付金事業				○	A				こども家庭課
5	(1)	11	母子・父子自立支援プログラム策定等事業				○	A				こども家庭課
5	(1)	12	公営住宅における優遇登録 母子家庭等地域生活支援事業				○	A				建築住宅課
5	(1)	13	母子家庭等地域生活支援事業	○			○	C		養育費に関する相談については、法テラス等の専門機関を紹介しており、ひとり親家庭相談と一体的に実施する方策については、検討中であるため。		こども家庭課
5	(1)	14	生活困窮者自立支援事業	○		○	○	A				生活福祉課
5	(1)	15	生活保護事業	○			○	A				生活福祉課
5	(2)	1	ひとり親家庭等学習支援事業				○	○	B	令和2年度から事業者を変更し、きめ細やかな支援を行っているが、申込数が目標値に届かなかった。令和2年4月から5月にかけては新型コロナウイルス感染症の影響により、事業開始を延期していることも一因と思われる。	○	こども家庭課
5	(2)	2	川越市生活困窮者学習・生活支援事業	○		○	○	C		令和2年度から事業者が変更になったこと、新型コロナウイルス感染症による学校閉鎖の影響により会場での教室が年度当初開催できなかったことなどが考えられる。	○	生活福祉課
5	(2)	3	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	○			○	A				こども家庭課
5	(2)	4	高等教育機関等における修学への支援	○			○	A				教育総務課
5	(2)	5	準要保護児童生徒に対する就学援助	○			○	A				教育財務課
5	(2)	6	実費徴収に係る補足給付を行う事業			○	○	A				保育課
5	(2)	7	子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業	○			○	A				こども政策課
5	(3)	1	要保護児童対策地域協議会				○	B		新型コロナウイルス感染症の影響により、研修の開催を見合わせたため。	○	こども家庭課
5	(3)	2	児童虐待防止の啓発活動				○	B		新型コロナウイルス感染症の影響により、地域における研修の開催が減少し、講師派遣の機会が減少したため。	○	こども家庭課
5	(3)	4	養育支援訪問事業		○		○	C		実績値については他律的なものであり未達となったが、訪問相談やヘルパー派遣の提供体制を確保できていると考えている。	○	こども家庭課
5	(3)	5	子ども家庭総合支援拠点の整備・運営	○			○	D		開設準備中(必要個所数1)のため、開設個所数が0となった。		こども家庭課
5	(4)	1	児童発達支援センターの運営				○	B		一般相談は、基本的に児童発達支援センターへ来所し、相談等を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防のために相談者のセンターへの来所を控えたため。	○	療育支援課
5	(4)	2	障害児通所支援事業の充実				○	C		事業所整備及び充実に向けた情報提供、相談及び助言等を行ったが、看護職員の配置が困難であることや重症心身障害児の支援に関するノウハウの不足により開所には至らなかったため。		療育支援課

4. 事業別達成状況等

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	施策 No.	事業名	新規 計画	重点 項目	未来 計画	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R2)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R2 現計予算 (円)	R2 決算見込 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
										R	R	R	R	R	計					
										2	3	4	5	6	面					
1	(1)	1 乳幼児健診			○	受診率	4か月 95.2% 1歳半 95.6% 3歳 93.5%	4か月 90.8% 1歳半 94.5% 3歳 93.9%	4か月 96% 1歳半 97% 3歳 95%	A					a	身体発育・精神発達の両面から健診を行い、子どもの健全発育を図るとともに、保護者の育児不安の解消を図った。	8,312,000	1,984,159	今後も継続して事業を実施し、子どもの健全発育を図っていく。	健康づくり支援課
1	(1)	2 乳児家庭全戸訪問事業			○	○	○	訪問件数	2,445	2,266	2,359	A			a	助産師及び保健師が、生後4か月までの家庭を訪問し、子育てに関する相談や情報提供を行い、育児不安の解消を図った。	5,424,797	5,077,287	今後も、継続して事業を実施し、育児不安の解消が図れるよう支援していく。	健康づくり支援課
1	(1)	3 乳幼児訪問指導				-	-	-	-	A				a	訪問による指導が必要な母子に対して、保健師等による訪問指導を実施した。 【妊産婦】 350件 【乳幼児】 450件	0	0	今後も、継続して事業を実施し、育児不安の解消が図れるよう支援していく。	健康づくり支援課	
1	(1)	4 産後ケア事業			○	延べ利用者数	37	23	40	C				c	産後4か月未満の母子に対して、心身のケアや育児サポート等のきめ細かな支援を実施し、育児不安の解消や母子の孤立化、児童虐待の予防を図った。 未達理由としては、想定以上に利用者が増えなかったため。受託者により新型コロナウイルス感染症の防止対策をとっている事業であるため、新型コロナウイルス感染症の影響はない。	2,115,658	1,204,902	育児不安の解消や母子の孤立化・児童虐待の予防のため今後も、継続して事業を実施する。令和3年度は、従来の「短期入所型」に加え、利用しやすい料金を新たに設定した「通所型」を併せて実施する予定である。	健康づくり支援課	
1	(1)	5 子育て世代包括支援センター			○	○	開設箇所数	3	4	5	A			a	母子保健型、基本型、特定型の各利用者支援事業の連携を強化し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供している。	0	0	令和2年6月に、新たに市民サービステーション内に3類型を揃えた子育て世代包括支援センターを開設した。今後も、各利用者支援事業の連携を強化し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行っていく。	健康づくり支援課	
1	(1)	6 利用者支援事業(母子保健型)			○	開設箇所数	1	2	2	A			a	妊娠期から子育て期にわたる様々な悩み等に対応するため、母子保健コーディネーターを配置し、相談・助言を行うとともに、関係機関との連携により、妊娠期から子育て期にわたり、切れ目のない支援体制を構築する。	1,445,613	1,401,280	令和2年6月に、新たに市民サービステーション内に母子保健型を開設した。今後も、事業を継続し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行っていく。	健康づくり支援課		
1	(1)	7 母子健康手帳の交付				-	-	-	-	A			a	妊娠の届出をした妊婦に対し、妊娠・出産の経過や子どもの健診記録等の成長記録となる母子健康手帳を交付する。 【妊娠届出件数】 2,264件 【母子健康手帳交付数】 2,236件	405,680	274,780	今後も、継続して事業を実施し、母子の健康管理と育児不安の解消が図れるよう支援していく。	健康づくり支援課		
1	(1)	8 妊婦健康診査			○	延べ助成回数	30,522	27,920	29,417	A			a	必要とされる健診回数及び、医学的検査の費用の一部を助成することで、妊婦健診の受診の勧奨、経済的不安の解消をすることができた。	238,633,080	207,567,776	妊婦に対し委託医療機関で健康診査を行うとともに、委託医療機関外で健診を受診した妊婦に対し、健診費用の一部助成を行う。令和3年度以降についても目標達成に向けて努める。	健康づくり支援課		
1	(1)	9 マタニティスクール				実施回数	6	39	6	B			b	妊婦とその夫等を対象にした教室で、妊娠・出産育児についての正しい知識を普及し、妊娠中の不安の解消と父親の育児参加を支援する。新型コロナウイルス感染症感染防止のため、個別または少集団(妊婦のみ)にて事業を実施した。	0	0	初めて赤ちゃんを迎える夫婦が、夫婦一緒に妊娠・出産・育児について学び、妊娠中の不安の解消が図れるよう、カリキュラムを見直し、感染予防対策を徹底し、短時間で効果的な事業を実施していく。	健康づくり支援課		
1	(1)	10 離乳食教室				-	-	-	-	D			d	新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止した。	31,360	13,699	令和3年度から事業再開。今後も離乳食についての指導を行っていく。	健康づくり支援課		
1	(1)	11 乳幼児相談				開催回数	30	24	30	B			b	新型コロナウイルス感染症の影響により、予約制で相談を実施した。今後も感染対策を徹底しつつ相談を行っていく。	15,000	2,500	新型コロナウイルス感染症の影響により、予約制で相談を実施した。今後も感染対策を徹底しつつ相談を行っていく。	健康づくり支援課		

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	施策 No.	事業名	新規	計画	重点 未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R2)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R2 現計予算 (円)	R2 決算見込 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
										R	R	R	R	R	計					
1	(1)	12 発育・発達相談				-	-	-	-	A				a	成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に診察・相談を行い、発育・発達を支援するとともに、親の不安解消につなげた。 相談会実施回数 24回	38,555	38,555	継続して実施し、児童発達支援センター等関係機関とも連携し、乳幼児の成長・発達を支援していく。	健康づくり支援課	
1	(1)	13 家庭訪問型子育て支援事業(ホームスタート)	○	○		利用家庭数	80	29	90	C				c	身近に相談できる方がいないなど、支援を受けることが適当と判断される6歳以下の未就学児を持つ家庭を対象として、研修を受けた家庭訪問型子育て支援ボランティアが、週に1回2時間程度訪問し子育て支援を行った。 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、訪問について、利用時間や活動内容の制限等を行ったことから、利用者数が少なかったため目標未達となっている。	3,472,000	1,455,826	子育てにおける不安感や孤立感の解消を図るため、支援が必要な家庭に対して、訪問活動を実施していく。令和3年度以降も引き続き事業周知に努めるとともに、訪問ボランティアの養成を行い、サービス提供体制を確保していく。	こども育成課	
1	(1)	14 こども医療費の助成			○	-	-	-	-	A				a	医療費の一部を支給することにより、子どもが必要とする医療を容易に受けられるようにし、子どもの健康の向上と福祉の増進を図ることができた。	1,112,786,000	947,357,230	子どもが必要とする医療を容易に受けられるようにし、子どもの健康の向上と福祉の増進を図るために、引き続き医療費の一部を支給する。 令和4年度から埼玉県内の医療機関を対象に現物給付化する予定がある。	こども政策課	
1	(1)	15 夜間休日診療事業(小児)				-	-	-	-	A				a	夜間休日診療所を運営する川越市医師会等に対し、運営費の一部を補助し、休日及び夜間における初期救急医療を確保することができた。	26,500,000	26,500,000	川越市医師会夜間休日診療所において、休日及び夜間に軽症の救急患者の診療を実施する事業に対し、必要な補助を行う。 休日及び夜間における初期救急医療を確保できており、引き続き、計画達成に向けて努める。	保健医療推進課	
1	(1)	16 子どもの予防接種	○			-	-	-	-	A				a	子どもを感染症から守るため、予防接種法に基づき、乳幼児や児童等が受ける定期予防接種を実施します。	654,769,860	624,529,290	法令に基づく事業のため、令和3年度以降も継続して実施する	健康管理課	
1	(1)	17 妊娠を希望する女性等への風しん予防接種	○			-	-	-	-	A				a	生まれてくる子どもを先天性風しん症候群から守るため、妊娠を希望する女性やそのパートナー等で、風しんの抗体価が低い方を対象に予防接種の費用を助成します。	2,820,750	2,151,130	令和3年度以降も当事業を継続して実施することとし、対象者の経済的負担の軽減を図り、安心して子どもが産める環境を整備する。	健康管理課	
1	(1)	18 幼児のむし歯予防推進事業				-	-	-	-	B				b	歯科口腔保健事業に係る関係機関等と連携し、フッ化物を応用したむし歯予防事業や乳幼児健診等での啓発活動を実施し、歯科口腔保健の推進を図った。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を縮小して実施した。	5,338,674	4,303,000	新型コロナ感染症の予防対策や感染状況等を踏まえ、実施方法を精査し、取り組む。	健康づくり支援課	
1	(1)	19 歯科健診・歯科保健指導等の実施				-	-	-	-	B				b	乳幼児を対象に月齢に応じた歯科健診、歯科保健指導等の事業を実施し、むし歯予防を含めた歯科口腔保健の推進を図った。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を縮小して実施した。	2,374,356	2,129,964	新型コロナ感染症の予防対策や感染状況等を踏まえ、実施方法を精査し、取り組む。	健康づくり支援課	
1	(1)	20 妊産婦歯科健診				-	-	-	-	C				c	妊産婦を対象に歯科健診、歯科保健指導を実施し、歯科疾患の早期発見、予防の推進を図った。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業規模を縮小して実施した。	128,343	21,390	新型コロナ感染症の予防対策や感染状況等を踏まえ、実施方法を精査し、取り組む。	健康づくり支援課	

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	施策 No.	事業名	新規 計画	重点 点	未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R2)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R2 現計予算 (円)	R2 決算見込 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
										R	R	R	R	R	計					
	1 (2)	1 地域子育て支援拠点事業	○	○		設置箇所数	24	24	26	A				a	子育て支援拠点は市内24箇所を実施。保護者の子育ての不安感を緩和すること、子どもの健やかな育ちを支援することに役立っている。設置箇所数は順調に推移していると考え。	160,980,000	151,693,332	川越市子育て支援センター(川越市子育て安心施設内)を当事業の統括的な役割に位置付け、川越市地域子育て支援拠点事業実務者会議の開催や施設訪問を通して、業務委託先の法人子育て支援拠点施設に対し、当事業の方向性を示し、利用率の向上に向けて、適切な改善策とともに検討することで、広場の質の底上げを図る。また、多様な子育て家庭のニーズに応じた支援を充実させ、地域における子育て支援の強化を図っていく。市内にバランス良く拠点施設を配置する計画としており、現在拠点施設の無い地区に配置できるよう努める。	子ども育成課	
	1 (2)	2 子育てサロン事業				実施館数	17	14	18	B				b	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、20講座中5講座が中止となり、実施した15講座すべてが一部未実施であった。実施予定館は17館であったが、14館での実施にとどまった。	2,402,500	393,000	新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えつつ、事業の広報・周知に努め、子育て世代の情報交換・交流の場としての認知度を高めていく。場合により、リモート開催もできるよう検討する。子育て中の保護者を対象に、育児に関する情報や親子で楽しむプログラムを提供し、乳幼児を健やかに育む機会を引き続き提供する。	中央公民館	
	1 (2)	3 子育てサポーター養成講座				-	-	-	-	D				d	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3講座すべてが中止となった。	122,500	0	新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えつつ、地域の子育てを支援する子育てサポーターを養成するため、講座を開催する際には広報に努め、引き続き実施していく。	中央公民館	
	1 (2)	4 ブックスタート事業	○			4か月児健診対象者の内実施した割合	94%	89%	95%	B				b	すべての乳児とその保護者を対象に、親子と一緒に絵本を開くという体験を通じて、ふれあいを深める機会を提供しているが、新型コロナウイルス対策感染拡大防止のため、対面式を中止し、書面にて内容を記載して、配付資料とともに渡す方法に変更して実施した。	1,144,000	1,012,000	令和2年度と同様に資料の配布を実施する。今後は感染予防対策を講じて希望者に説明等を短縮して行う方向で進めている。	中央図書館	
	1 (2)	5 長期療養児等育児支援				-	-	-	-	D				d	ダウン症や多胎児の親の交流を通じ、育児不安の軽減を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施せず。	7,769	0	今後は、実施形態を見直し、感染予防対策を徹底し、集団での事業を実施していく。	健康づくり支援課	
	1 (2)	6 産前・産後サポート事業	○	○		実施回数	12	16	20	B				b	妊産婦等が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、子育て経験者による相談や情報交換の場の提供により、相談支援を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン(web会議システムを利用したLIVE講座)にて実施した。	640,000	544,500	継続して事業を実施し、安心して妊娠・出産・育児に臨めるよう体制を整備していく。令和2年度は、オンラインにて事業を実施した。今後は感染状況により、実施形態を検討していく。	健康づくり支援課	
	2 (1)	1 通常保育事業	○	○		定員数	4,477	5,714	5,459	A				a	保育所の増改築・新設を各1園、小規模保育事業所を2園新設し、定員の拡大を図った。	131,783,000	131,783,000	幼稚園から認定こども園への移行を推進し、保育の必要量を確保していく。	子ども政策課 保育課	
	2 (1)	2 認可外保育施設等の認可化支援				-	-	-	-	A				a	小規模保育事業へ1園移行した。	0	0	今後の待機児童の状況により支援の実施を調整する。	子ども政策課	
	2 (1)	3 保育士研修		○		参加者数	2,166	128	2,200	C				c	実施に向けて検討したが、新型コロナウイルス感染症による影響で大規模な4回の研修会の実施を中止した。オンラインでの研修については、参加できるものは参加した。	889,000	34,520	令和3年度は、4回の研修をそれぞれ異なる研修ではなく、2つの研修を2回実施することで、密を避けながらの実施をする方向で進めている。	保育課	
	2 (1)	4 認定こども園の推進	○			-	-	-	-	A				a	市内認定こども園7園に給付費を支給した。また、幼稚園からの移行の相談に応じた。	0	0	引き続き既存園の運営のサポート、幼稚園からの移行を推進する。	子ども政策課 保育課	

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	施策 No.	事業名	新規 計画	重点 未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R2)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R2 現計予算 (円)	R2 決算見込 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
									R	R	R	R	R	計					
2	(1)	5 幼稚園事業の推進	○		-	-	-	-	A					a	幼稚園からの移行の相談に応じた。また、窓口で幼稚園の案内を配布した。	0	0	引き続き幼稚園からの移行を推進する。	こども政策課 保育課
2	(1)	6 幼稚園の耐震化の推進			耐震化未実施施設数	3	2	0	D					d	令和2年度については、予定通り実施していないが、施設との調整により令和3年度に予算を計上した。 小規模保育施設2園を整備し、定員の拡大を図った。(定員34人増)	0	0	令和3年度に1園の耐震化を予定している。対象となる施設には引き続き調査を継続していく。 今後の待機児童の状況により整備量を調整する。	保育課
2	(1)	7 地域型保育事業	○		整備定員数	394	515	587	A					a	本事業の対象となる新規事業者等がなかったため、実施に至らなかった。	0	0	本事業の対象となる新規事業者等がなかったことから、実施に至らなかった。引き続き調査、研究を継続する。	こども政策課 保育課
2	(1)	8 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	○		-	-	-	-	D					d	4か月児健診等の乳幼児健診において、乳幼児期の健全な成長発達を目指し、食事の大切さ等について啓発を行った。 栄養教育については、新型コロナ感染症対策等のため栄養士の巡回を控え、資料配布(園での実施)にとどまった。 令和2年度については、コロナ禍であったため人権講演会の開催は見送ったが、人権保育映画会の実施や人権関係の絵本を購入する等、人権保育の推進を図ることができた。	0	0	栄養教育にむける状況を整え、継続して事業を実施し、食から乳幼児期の健全な成長発達を促す。	保育課 健康づくり支援課
2	(1)	9 未就学児に対する食育の推進	○		栄養教育実施回数	6	1	6	C					c	令和2年度については、コロナ禍であったため人権講演会の開催は見送ったが、人権保育映画会の実施や人権関係の絵本を購入する等、人権保育の推進を図ることができた。	450,000	276,349	保育所において園児・保護者を対象に人権についての映画会や、講演会を実施し、人権についての啓発活動を支援していく。	保育課
2	(1)	10 人権保育の推進			-	-	-	-	A					a	令和元年度に障害者福祉課から移管され、令和2年度からの事業実施に向けての法人への委託を考えていたところ、新型コロナウイルス感染症対策等のため、委託実施ができない状況となった。 そのため、令和2年度は、センターにて実施方法を変更して園からの相談に対応した。 【令和2年度実績】148件	0	0	令和元年度に障害者福祉課から児童発達支援センターに移管された事業であるが、事業実施可能な委託先が見つからなかったこと及び新型コロナウイルス感染症予防のため委託による実施が困難であった。令和3年度以降、療育支援課に専門職員を配置したうえで事業を引き継ぎ、実施の方向性を検討のうえ実施する。	療育支援課
2	(1)	11 こどもの発達支援巡回事業			-	-	-	-	B					b	子ども・子育て支援法に基づき、適切に施設等利用給付の支給を実施した。	57,850,000	53,779,132	子育て世帯の負担軽減につながる事から、今後も継続して子ども・子育て支援法に基づき、適切に施設等利用給付の支給を実施する。	保育課
2	(1)	12 認可外保育施設等への施設等利用給付	○		-	-	-	-	A					a	子ども・子育て支援法に基づき、適切に施設等利用給付の支給を実施した。	1,517,492,000	1,510,265,511	子育て世帯の負担軽減につながる事から、今後も継続して子ども・子育て支援法に基づき、適切に施設等利用給付の支給を実施する。	保育課
2	(1)	13 幼稚園等への施設等利用給付	○		-	-	-	-	A					a	幼児教育振興審議会で練り上げたテーマに沿って、幼保小連絡懇談会を毎年実施している。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、実施できなかった。	170,000	0	幼保小連絡懇談会の開催により、相互の職員の交流を図ることができている。今後も、テーマについての懇談を通して、各園・校の特色ある実践を知り、日々の教育・保育実践に活かすことができるようにしていく。	教育指導課
2	(2)	1 時間外保育事業(延長保育事業)	○		実利用児童数	2,174	2,032	2,237	A					a	保護者の都合により、延長保育が必要となった場合、登録者の他に緊急で受け入れられる体制をとっている。現在のとこ、延長保育の実施者は定員数内で運営しているため、規定の条件を満たしていれば利用が可能となる。	43,629,500	30,092,820	全認可保育所で実施し、提供体制を確保できている。令和3年度に開設する新規保育所でも時間外保育を実施依頼し、事業の拡充を図ることで計画達成に努める。	保育課
2	(2)	2 産休明け保育事業			実施施設数	10	40	10	A					a	昨年度以上の実施施設数が確認された。 民間保育所11園、認定こども園1園、小規模保育事業所20事業所(1増)、事業所内保育施設8園(1増)	0	0	特定地域型保育事業所での実施も拡充し、引き続き目標達成に努める。	保育課

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	No.	事業名	新規	事業 計画	重点 未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R2)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R2 現計予算 (円)	R2 決算見込 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
										R	R	R	R	R	計					
2	(2)	3				確保量	56,650	58,860	65,520	A				a	事業の実施圏は24圏で、確保量については58,860人日となった。 ※H27より川越市子ども・子育て支援事業計画に基づく確保量実績値(延べ人数)を記入	88,550,000	75,893,500	利用希望者が利用しやすい事業となるよう事業の拡充に努めていく。また利用者増加に向け保護者へ利用方法の周知等を行っていくことで計画の達成が見込まれる。	保育課	
2	(2)	4				延べ利用者数	169,302	168,970	237,364	B				b	一時預かり事業(幼稚園型)や川越市預り事業への補助の実施により、コロナ禍における利用の縮小は見られたが、保育ニーズへの適切な対応が図れた。	175,482,000	142,288,042	多様な保育ニーズに対応するため、幼稚園等における一時預かり・預かり保育事業を推進していく。	保育課	
2	(2)	5				-	-	-	-	A				a	公立保育園20圏において、統合保育事業を実施した。令和2年4月の障害児の受け入れ人数は107人であった。	2,815,976	2,315,592	保育の必要性がある障害児について、安心・安全な保育を確保できるよう体制を整えたうえで受け入れを継続していく。	保育課	
2	(2)	6				実施施設数 延べ利用者数	4 967	4 263	4 1,200	C				c	病院、保育所等に付設された専用スペース等において、急変が認められない病気の児童や、病後回復期にある児童の保育を行った。市内4箇所(東・西・南・中央)において事業を実施することで、仕事と子育ての両立支援を図った。 新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用の自粛等により、利用者数が減少した。	41,064,000	38,838,990	利用状況等を注視しながら、計画達成に向け、広報掲載や保育所・幼稚園・学童保育室等を通じ、潜在的利用者への周知に努め、仕事と子育ての両立支援を図る。	こども育成課	
2	(2)	7				活動回数 (子育て援助活動支援事業) (病児・緊急対応強化事業)	9,271 146	6,248 187	10,007 150	C				c	子育ての援助を提供したい人と依頼したい人を会員とし、会員間の援助活動の調整を行うことにより、子育ての支援を図った。 また、緊急サポートセンター事業(病児・緊急対応強化事業)の実施により、基本事業で対応できない、緊急、突発的な対応や病児の預かりを実施し、よりよい子育て支援サービスの提供を図った。 新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用の自粛等により、利用者数が減少し、子育て援助活動支援事業の活動回数は減った。	18,876,000	15,944,717	会員の適正管理に努めるとともに、活動回数の増加につながるよう利用者ニーズに則した事業の推進を図っていく。 令和3年度以降も引き続き事業周知に努め、計画達成に向け、提供会員数の増加や稼働率の向上を図るものとする。	こども育成課	
2	(2)	8				延べ利用者数	512	256	600	C				c	新型コロナウイルス感染症の影響下においても、感染予防対策を講じたうえで事業を継続したが、主にトワイライトステイ事業で利用申込みが大幅に減少した。一方、ショートステイ事業の利用申込み数は概ね横ばいであり、保護者の疾病等による養育困難時に適切に受け入れることにより、セーフティネットとしての役割を果たしている。	8,554,000	7,821,322	延べ利用者数は社会状況に影響を受ける面もあるが、ショートステイには新型コロナウイルス感染症の影響下においても一定のニーズが見込まれるため、感染症対策を講じた上、申込みがあれば受け入れられる体制を維持していく必要がある。	こども家庭課	
2	(2)	9				保育ステーション設置数	0	0	1	D				d	令和3年7月開設予定の子育て安心施設での事業実施に向け準備を行った。	0	0	令和3年7月から円滑に事業を実施するため、準備を進める。	保育課	
2	(2)	10				-	-	-	-	B				b	事業所内保育事業所1圏において、休日保育事業を実施した。 【延べ利用人数】135人 なお、夜間保育事業については、実施する事業者がいなかったため、実施には至らなかった。	0	0	休日保育を提供できる体制を確保し、保育ニーズへの対応が図られるよう努める。 また、夜間保育事業については、事業者の保育体制を見据え、引き続き事業実施方法を検討する。	こども政策課 保育課	
2	(3)	1				開設箇所数	2	4	5	A				a	令和2年6月より、川越市民サービスステーション内に基本型を1箇所増設した。 個別のニーズに合わせて子育て支援の施設やサービス等の情報を提供し、円滑に利用できるようサポートすることで、子育ての不安感や孤立感の解消を図った。	21,774,135	20,961,584	利用者に有意義な情報提供を提供し、確実に支援が受けられるようにするため、関係機関相互の連携体制を強化する。	こども育成課 保育課	

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	No.	事業名	新規 計画	重点 項目	未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R2)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R2 現計予算 (円)	R2 決算見込 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
										R	R	R	R	R	計					
2	(3)	2	子育て情報の発信			年間発行部数	20,000	20,000	20,000	A					a	各施策、各相談窓口など出産や子育てに関する情報を幅広く掲載した子育て情報誌「こえどちゃん」を発行し、母子手帳交付時、転入手続き時等に配布するほか、希望者に配布し、情報提供の推進を図った。また、ホームページ、官民協働事業による検索性の高い子育て応援サイト(ママフレ)、メール配信等、様々な周知方法を整備し、より多くの人に必要情報が行き届くよう努めた。	142,000	142,000	子育て情報誌については、今年度についても目標事業量に基づく発行部数を予定する。より多くの方にご覧いただけるよう、子育ての方が得たい情報の集約に努めるとともに、電子ブック等での閲覧しやすい環境を引き続き整える。また、市のHP、子育て応援サイト(ママフレ)、メール配信等を活用し、子育て支援サービスのメニューや手続方法の周知を図る。	こども政策課
2	(3)	3	パパ・ママ応援ショップ事業			市内協賛店舗・施設数	858	860	900	A					a	18歳未満の子ども(18歳に達して次の3月31日を迎えるまでの子どもを含む)または妊娠中の方がいる家庭を応援するため、店舗等で割引などのサービスが受けられる応援ショップ事業を埼玉県と共同して実施した。市内協賛店舗・施設数860箇所。 ホームページ等で事業の周知を図り、市窓口にて必要な方に「優待カード」を配布するとともに、母子手帳交付時、対象世帯の県外からの転入手続き時にも「優待カード」を配布した。また、カードの更新手続きが不要のスマートフォンアプリの利用を促すチラシについても配布した。	0	0	ホームページやチラシ等を活用し、引き続き、利用方法や協賛店舗の募集等事業周知に努め、「優待カード」の配布を進めるとともに、市内協賛店舗・施設数の目標達成を目指す。 また、「優待カード」が令和4年3月末日に有効期限を迎えることから、埼玉県及び関係課と協力しながら、更新手続き等の対応を行っていく。	こども育成課
2	(3)	4	赤ちゃんの駅事業			市内登録施設数	140	148	150	A					a	市内の公共施設41箇所を「赤ちゃんの駅」として指定し、授乳及びおむつ替等のスペースを提供。また、埼玉県との共催事業として民間施設においても「赤ちゃんの駅」を実施し、川越市内で合計148箇所の施設を登録。登録施設には「赤ちゃんの駅」ステッカー等を標示している。 乳幼児を連れて保護者が安心してイベントに参加できる環境づくりとして「移动式赤ちゃんの駅」の貸出を行った。 【貸出実績】1件 ※R2現計予算・決算額は、移动式赤ちゃんの駅の部品購入(消耗品費)	4,000	4,000	引き続き、埼玉県と協力して「赤ちゃんの駅」事業を広く周知し、指定施設をさらに増やして乳幼児連れの保護者が安心して外出できる環境の整備を図る。 また、乳幼児を連れて保護者が安心してイベントに参加できる環境づくりとして、「移动式赤ちゃんの駅」の貸出を、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら行っていく。	こども育成課
2	(3)	5	育児サークル支援			サークルへの支援回数	22	4	25	C					c	サークル間の活動内容等の情報交換の場を提供し、交流の促進を図ることで、サークルが活性化し、子育てをする保護者達の悩みや不安の解消と喜びを共有することのできる貴重な場となる。出張支援を実施することで、育児に関する知識の普及の他、活動の取組のヒントを提供することにより、サークル活動の継続と活性化、育児力の向上につながった。育児サークル数が減少していることや、新型コロナウイルス感染拡大に伴い育児サークル支援回数が減少した。	0	0	育児サークル数の減少などから支援回数が減少しているが、育児に悩む保護者の不安の解消や育児力の向上のため、出張支援等を通じて、サークルの活性化を図り、計画達成に向け努めていくが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、難しい状況である。	こども育成課
2	(3)	6	家庭教育講座			実施館数	17	5	18	C					c	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった講座があるが、実施予定館数は15館であった。	1,674,500	193,500	新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えつつ、家庭教育力を高めるため、乳幼児の心と体を育むための講座を引き続き実施していく。	中央公民館
2	(3)	7	子育て安心施設整備事業			-	-	-	-	A					a	令和元年度から着手した新築工事について、計画した工程に基づき整備を進めた。また、施設の運営に向けて必要となる事務を行った。	939,089,000	781,117,360	令和3年度についても引き続き整備を行い、令和3年7月5日から施設の供用を開始した。	こども政策課

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	施策 No.	事業名	新規	事業 計画	重点 未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R2)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R2 現計予算 (円)	R2 決算見込 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
										R	R	R	R	R	計					
	3 (1) 1	オールマイティー チャー配置事業			○	配置校数	16	12	18	C							44,675,520	41,175,110	各学校の課題に応じたオールマイティー チャーの活用により、学力向上や生徒 指導面で確実に成果を上げている。 また、オールマイティーチャーの配置を 望む学校が年を追うごとに増えている。 今後も事業の拡大を図っていきたい。	学校管理課
	3 (1) 2	教育相談・就学相談 事業			○ ○	①スクールソーシャルワ ーカーが対応した学校数 ②就学相談での判断と 実際の就学状況一致率	①37 ②84.9%	①38 ②87.8%	①56 ②85.0%	B							83,973,000	79,906,210	①対応するケースの要因が、多様化・複 雑化していることを受け、スクールソ シアルワーカーやさわやか相談員、教職 員の研修において、それぞれに求めら れる役割・職務を明確にし、校内での組 織的対応や校区内での連携の充実を図 る。 ②就学相談件数が年々増加しており、 計画的に相談の運営ができるようにす る必要があります。一人一人の教育的 ニーズに対応できるよう、丁寧な就学相 談を進める。	教育センター
	3 (1) 3	少人数指導の充実				-	-	-	-	A							0	0	全市立小・中学校に、県費による指導方 法工夫・改善に伴う加配教員が配置さ れ、少人数指導やチーム・ティーチング による、個に応じたきめ細かな指導を積 極的に実施し、確かな学力育成を図つ た。	教育指導課
	3 (1) 4	不登校対策の推進				-	-	-	-	B							81,906,000	78,070,870	小学生の不登校児童数が増加傾向に あり、個に応じた支援が求められてい る。学校・地域・関係機関等の連携や職 種に応じた研修をより充実させ、不登校 解消を目指す。	教育センター
	3 (1) 5	川越市教職員研修				-	-	-	-	A							1,735,000	568,591	今後もライフステージや本市の課題に対 応した研修を計画・実施し、教職員の経 験年数に応じた指導力の向上を図る。 更に専門研修や研修の実施形態(集合 型、オンライン型、オンデマンド型)につ いて見直しを図り、研修の目的を十分に 達成できるよう工夫改善を図ることで、 教職員の幅広い実践的指導力の向上を 目指す。	教育センター
	3 (1) 6	一人ひとりのニーズに 応じた指導や支援の 充実				-	-	-	-	C							1,147,000	453,000	第三次川越市教育振興基本計画に則り、 通級指導教室を活用した障害に応じた 支援の充実や特別支援学級の計画的な 配置等を進める。インクルーシブ教 育システムの構築に向け、多様な学び の場の提供と児童生徒一人ひとりの教 育的ニーズに応じた指導や支援の充実 を図るため、学級運営支援員や特別支 援教育支援員の配置等、環境の整備に 努める。	教育センター

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	施策 No.	事業名	新規 計画	重点 項目	未来 計画	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R2)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R2 現計予算 (円)	R2 決算見込 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
										R	R	R	R	R	計					
3	(2)	1	小・中学校における食育の推進			○	食の指導実施校数	54	54	54	A				a	全市立小中学校に食の指導実施を呼びかけ、心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養やとり方を理解させ、自ら管理していく能力を身に付けさせることができた。	0	0	引き続き、全市立小・中学校で食の指導を継続するよう啓発していく。	教育指導課
3	(2)	1	小・中学校における食育の推進			○	食の指導実施校数	54	54	54	A				a	小学校2年生2,911人を対象に指導を行い食に関する理解を深めることができた。 給食ニュース発行 小学校17回 中学校18回 放送資料(たべもののおはなし)配布 小学校16回分 中学校16回分 給食だより発行 5回	0	0	R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大を鑑み映像資料による食の指導を行った。 R3年度は、例年通り、学校を訪問して食の指導を実施し、食育の推進を図る。	学校給食課
3	(2)	1	小・中学校における食育の推進			○	食の指導実施校数	54	54	54	A				a	栄養教諭・学校栄養職員の授業等における指導技術及び学校給食管理における職務遂行能力の向上を目的とした研修会を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会の開催方法を見直し、女子栄養大学准教授川則子氏による「免疫力を高める食生活について」の講義映像を視聴し、レポートを提出する形式で研修会を実施した。本市の子ども達の食を支える職員が免疫力の向上というタイムリーなテーマについて学ぶことができた。	5,000	5,000	小・中学校における食育の推進に寄与していることから、今後も計画達成のために栄養教諭・学校栄養職員研修会等の研修会を充実させていく。	教育センター
3	(2)	2	薬物乱用防止啓発				①周知回数等 (広報) (ポスター) (リーフレット)	2回 3回 1,000部	3回 3回 0部	2回 3回 1,000部	B				b	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントが中止になり、リーフレットの配布ができなかった。 市内の利用者の多い駅の構内等に薬物乱用防止ポスターを掲示し、広く啓発を行った。	136,577	130,453	新型コロナウイルス感染症が収まり、イベントの開催が出来るようになれば、リーフレットの配布を再開し、計画達成に努めていきたい。	保健総務課
3	(2)	2	薬物乱用防止啓発				②薬物乱用防止教室実施校数	56	56	56	A				a	全市立学校に薬物乱用防止教室の開催を呼びかけ、児童生徒だけでなく、保護者への啓発を図った。コロナ禍ではあったが、感染症対策を図りながら、全校で開催することができた。	0	0	引き続き、全市立学校で薬物乱用防止教室を開催するなど、啓発活動を実施していく。	教育指導課
3	(2)	3	性感染症対策				中学校出前講座実施校数	16	11	22	C				c	新型コロナウイルス感染症の影響等も見られたが、講座の実施を希望する中学校全てで講座を実施することができた。	726,000	462,000	講座を実施するかどうかの判断は、そのほとんどを学校側に委ねているため、学校の方針等に強く左右される。	保健予防課
3	(3)	1	中学生社会体験事業			○	中学校実施校数	22	0	22	D				d	全市立中学校第1学年または第2学年の生徒が、望ましい勤労観や職業観を身に着けるために、実際に職場体験活動を行っている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、中学生社会体験事業を中止とした。	805,950	0	全市立中学校全校で、望ましい勤労観や職業観を身に着けさせるために、職場体験活動を行っている。	教育指導課
3	(3)	2	社会体験学習及び交流活動				-	-	-	-	B				b	コロナ禍で実施が難しかったことから、電話によるインタビューなどに代えて実施した。	0	0	コロナ禍が収束した後に、積極的に実施していきたい。	保育課
3	(3)	3	地域人材活用事業				事業実施回数	233	151	275	C				c	特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、地域人材を活用し、多様な教育活動や体験活動が展開できた。主に学習支援や読み聞かせ、部活動指導支援等で地域人材の活用ができた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域との関わりを持つ機会が減ってしまったため、実施回数が大きく減少した。	825,000	453,000	地域の人材を活用し、多様な学習に取り組むことができた。特に、読み聞かせや農業体験等様々な分野で子どもたちの心に残る学習につながっている。新型コロナウイルス感染症の影響により、地域との関わりが減ってしまった現状がある。 引き続き、多様な学習機会を提供するため、コロナ禍における感染防止策を講じながら、地域の人材を積極的に活用し、特色ある学校づくりを推進していく。	学校管理課

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	No.	事業名	新規 計画	重点 事項	未来 計画	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R2)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R2 現計予算 (円)	R2 決算見込 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課	
										R	R	R	R	R	計						
3	(3)	4 PTA家庭教育学級	○			-	-	-	-	D						d	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった。	810,000	0	令和2年度までは委託にて実施していたが、令和3年度より各単位PTAの実情に合わせ、実施してもらうよう実施方法を検討する。	地域教育支援課
3	(3)	5 親の学習講座	○			-	-	-	-	B						b	一部新型コロナウイルス感染症の影響により実施できない学校もあったが、小学校32校中25校が実施した。	125,000	125,000	例年通り実施予定だが、新型コロナウイルスの感染状況等による。	地域教育支援課
3	(3)	6 コミュニティ・スクール	○		○	-	-	-	-	A						a	学校と保護者・地域住民等が目標やビジョンを共有し、ともに知恵を出し合い、学校運営に地域の声を積極的に生かす仕組みをつくっている。学校と保護者・地域住民等が、連携・協働しながら子供たちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」を進めるため、学校運営協議会を設置した。	162,000	210,000	令和5年度から、すべての市立学校に学校運営協議会が設置できるように、学校と保護者・地域住民等へ、コミュニティ・スクールについての理解を図っていく。	学校管理課
3	(3)	7 地域子どもサポート推進事業		○	○	事業参加者数	40,989	1,447	41,000	C						c	新型コロナウイルス感染症の影響により、各地区における多くの事業が中止となった。しかし、そのような状況の中でも、各地区が学校及び社会教育施設と連携し、子どもたちの現状に即した活動の検討を進め、小規模ながらも一部の事業を実施することができた。	3,944,278	2,774,340	引き続き学校及び社会教育施設と連携しながら、「新しい生活様式」に則った各地区における事業の展開方法を検討する。	地域教育支援課
3	(4)	1 放課後児童健全育成事業	○	○		受入可能児童数	3,509	3,866	4,454	A						a	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内の学童保育室32箇所及び民間の放課後児童クラブ1箇所で開催した。 【学童保育室】 令和2年度入室児童数3,066人(待機児童0人) 5学童保育室で小学校の教室等を活用し、専用面積の増加を図った。 老朽化した設備、備品等の修繕を行った。(32室147件) 【民間放課後児童クラブ】 令和2年度入室児童数44人	722,747,000	669,538,456	【学童保育室】 ・入室要件を満たした児童を受け入れる。引き続き待機児童0人を目標とする。 ・狭あい化している学童保育室を把握し、小学校と協議の上、余裕教室等を活用または改修することにより、専用面積の増加を図る。 【民間放課後児童クラブ】 保護者の就労等により、家庭が常時留守になっている児童を、待機児童なく安全に保育する。確保量が利用者数を上回るようにし、達成状況の維持を図る。新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら適切に事業が行われるよう、関係課と調整しながら事業の管理・監督を行っていく。	こども育成課 教育財務課
3	(4)	2 児童館機能の整備				-	-	-	-	A						a	利用者ニーズの多様化を踏まえつつ、市民ボランティア等事業協力者、関係各課・期間・団体等と連携して、青少年健全育成及び子育て支援に係る各種サービスを3館で提供してきた。 ◎児童センターこどもの城 ○開館日数 188日 ○利用者数 10,210人 (プラネタリウム 349人) ◎川越駅東口児童館 ○開館日数 188日 ○利用者数 4,980人 ◎川越市高階児童館 ○開館日数 188日 ○利用者数 8,357人	59,429,000	53,980,553	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を取り入れながら、青少年健全育成及び子育て支援に係る各種サービスの提供に努める。	こども育成課
3	(4)	3 放課後子供教室の推進事業	○			-	-	-	-	B						b	新型コロナウイルス感染症の影響の中で、2小学校・1公民館で試行的に実施したものの、十分な試行を行うことができなかった。	500,722	144,707	「新しい生活様式」に則った実施方法を検討し、地域の実情に合った多様な放課後子供教室の実施に向け、引き続き試行的実施及び検証に取り組む。	地域教育支援課

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	No.	事業名	新規 計画	重点 未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R2)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R2 現計予算 (円)	R2 決算見込 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課			
									R	R	R	R	R	計								
3	(4)	4	子どもの居場所づくりの推進	○	○	新規開設数	-	0	3	D								令和3年7月開設の子育て安心施設での事業実施に向け、準備を行った。	-	-	子育て安心施設での「子どもの居場所」を定着させるとともに、地域に根差した「居場所」を地域が運営できるよう支援を行う。	こども育成課
3	(4)	5	児童遊園の整備			-	-	-	A									保守点検の結果等に基づき、適切に遊具等の修繕を行い、児童遊園施設の安全性の確保に努めた。	11,745,000	11,043,122	大多数の児童遊園が設置から30~40年を経過しており、遊具等の劣化も進んでいる状況であるが、予算の範囲内で可能な限り修繕を実施し、遊具等の安全性の確保に努めていく。 令和3年度も引き続き、予算の範囲内で修繕等維持管理を進めていくものとする。	こども育成課
3	(4)	6	都市公園の整備			都市公園(延べ)整備箇所数	7	17	10	A								市民へ安全に公園を提供するため、遊具等の保守点検や砂場浄化などの維持管理に努め、予算の範囲内で適切に改修等を行った。 保守点検の結果、改修・補修が未着手な箇所については使用禁止等の必要な措置を行った。	46,049,000	45,312,000	限られた予算を効率良く活用するため、緊急性のある公園施設の改修・補修を優先的にを行い、市民サービスの向上を図るとともに、保守点検の結果を参考に、改修・補修が必要な箇所の整備に努める。また、公園の新規開設に向けて整備を進める。	公園整備課
4	(1)	1	不妊に対する支援			-	-	-	A									特定不妊治療・男性不妊治療を受ける夫婦を対象にその治療に要する費用の一部及び不妊検査、不育症検査に要する費用の一部を助成する。 不妊専門相談センターにおいて専門相談を行う。	82,155,000	55,577,029	令和3年度以降も当事業を継続して実施することとし、子どもを望む世帯の不妊治療に係る経済的負担の軽減に寄与する。 なお、特定不妊治療については、令和4年度より保険適応となる見込みであり、当課の事業から離れる可能性が高い。	健康管理課
4	(1)	2	子育て体験学習			市立中学校実施校数	22	17	22	B								中学生を対象に「命の力」「命のつながり」を話し伝えることで、自己肯定感を高め、自己と他者を大切に思う心を養い、乳幼児やその親とふれあうことで、自分がうまれてきたことに喜びを感じてもらうことを目的として講座を市立中学校17校で実施した。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は赤ちゃんとのふれあい体験を人形を用いたふれあい疑似体験に変更して実施した。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、授業時数の確保や感染防止対策を講じることが難しい学校については、実施を取り止めたため、実施校数は減少となった。	1,030,480	852,500	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度は赤ちゃんとのふれあい体験を人形を用いたふれあい疑似体験に変更し実施した。今後も新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、感染防止対策を講じながら事業を実施していく。	こども育成課
4	(1)	3	結婚支援事業			実施回数	2	0	2	D								新型コロナウイルスの影響により実施することができなかった。	76,680	0	新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた実施方法を検討していく。	広聴課
4	(1)	4	結婚相談			-	-	-	A									新型コロナウイルスにより一部休止の影響があったが、概ね順調に実施できた。(相談件数3,189件)	2,557,420	2,354,181	引き続き、結婚を希望する男女に配偶者を紹介し、結婚に至るまでの相談を実施する。	広聴課
4	(1)	5	ワーク・ライフ・バランス推進事業	○		セミナー開催回数	1	0	1	D								県の労働セミナーと共催で夜間に雇用支援課、男女共同参画課の2課で、ワークライフバランスをテーマに盛り込んだセミナーを開催予定だったが、緊急事態宣言の発令に伴い、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	47,000	0	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、セミナーの開催について検討する。	男女共同参画課 雇用支援課
4	(1)	6	女性の就労支援事業			講座開催時間数	190.0	0	190	D								ウエスト川越で、資格取得や再就職に役立つ講座を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、指定管理者と協議のうえ、令和2年度の講座は中止した。	3,120,000	0	予定どおり実施する。	男女共同参画課

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	施策 No.	事業名	新規 計画	重点 項目	未来 計画	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R2)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R2 現計予算 (円)	R2 決算見込 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課	
										R	R	R	R	R	計						
4	(1)	7 家庭における男性の 参画促進				講座開催時間数	30	0	30	D							情報紙を年2回各4,500部発行したのに に加え、6月と12月に号外を各380部発行 した。 ウエスタ川越で、家庭生活において男女 が協力し、安心して子育てや介護ができ る環境づくりを支援する講座を実施して いるが、新型コロナウイルス感染症の影 響により指定管理者と協議のうえ、令和 2年度の講座は中止した。	396,000	386,100	予定どおり実施する。	男女共同参画課
4	(1)	8 多子世帯応援クーポ ン				-	-	-	-	A							第3子以降の子どもが生まれた世帯を対 象に、埼玉県が実施するクーポン事業 に金額を上乗せし、子育て支援サービ ス等に利用できるチケットを配布し利用 してもらうことにより、多子世帯の育児 に係る経済的・身体的負担の軽減に寄与 した。	13,350,270	13,338,388	令和3年度事業については、引き続き埼 玉県の事業に金額を上乗せして実施す る。 令和4年度からの方向性については、事 業内容の見直しを図る。	子ども政策課
4	(1)	9 多胎児産前産後ヘル パー派遣事業				-	-	-	-	B							新型コロナウイルス感染症により利用を 見合わせるなどの影響が出ているもの と思われるが、多胎児世帯の妊娠出産 期における母の負担軽減を図り、子育て を支援するために、家事又は育児の援 助を行うヘルパーを派遣することによ り、多胎児世帯の母の負担軽減を図る ことができた。 【派遣回数】164回	5,995,360	998,985	多胎児世帯の育児負担は大きいことか ら、引き続き関係機関と連携を図り、事 業の推進を図っていきたい。	子ども家庭課
4	(1)	10 多世代同居・近居の 促進	○			-	-	-	-	A							子育て等を通じて必要な時に支えあい を行うことができるよう多世代同居・近 居の周知を図り、祖父母世代に対し、子 育てに関する必要な情報提供を行う方 策を検討し、令和3年度以降の方針を定 めた。	0	0	多世代同居・近居に関し、必要な情報 を集約し、市ホームページ上で公開する など情報提供に努めていく。	子ども政策課
4	(1)	11 若者のライフデザイン の支援の検討	○			-	-	-	-	A							大学生や高校生等に対し、結婚、妊娠、 出産、就職などについて考えるきっかけ とするライフデザイン事業の実施するた め、令和2年度に青年会議所主催の「川 越若者会議」と協働し、ライフデザインを テーマに事業を実施できないか検討を 行った。	0	0	厳しい財政状況の折、新規に予算を投 じて事業を実施することが困難であるた め、民間との連携(包括連携協定締結 企業、川越市青年会議所等)により、若 者向けの講演や体験型イベント等のライ フデザイン事業を実施を検討し、実施に 向けては市の費用負担の抑制を図る (子育て安心施設の活用等)。	子ども政策課
4	(2)	1 青少年を育てる市民 会議		○		地区会議事業数	84	22	84	C							全22地区への地区会議活動費補助を行 い、青少年健全育成に寄与する事業が 各地区で実施された。各種表彰及び少 年の主張作文優秀作品の表彰を行い、 青少年への理解と関心を高めた。	3,200,000	1,480,925	引き続き、市民会議会員である関係機 関、団体の連携と、青少年健全育成の 推進を図る。各地区の事業は感染症の 状況に左右される場合が多いため、新し い視点や考え方で、青少年健全育成に 寄与する事業実施を促す。	子ども育成課
4	(2)	2 民生委員・児童委員 研修会				開催回数	4	1	4	C							子どもに関する様々な問題に対応する 知識・スキル等の向上を図るため、例年 4回程度研修を実施しているが、令和2 年度は新型コロナウイルス感染症の影 響により、対面での研修実施は中止とな り、DVDによる動画視聴研修の実施の みにとどまった。	105,000	66,495	新型コロナウイルス感染症の状況を考 慮しながら、引き続き研修の実施に努め ていく。	福祉推進課
4	(2)	3 高校生のための労働 法セミナー	○			セミナー開催回数	3	2	4	C							市内高校にて、高校生を対象とした労働 法の基本的なポイントや働く上でトラブ ルにあった場合の対処や相談方法など を解説するセミナーを2回開催した。新 型コロナウイルス感染症の影響により、 全3回のうち、1回を中止とした。	120,000	60,000	新型コロナウイルス感染症が収束後、 目標どおり事業の実施を行う。	雇用支援課

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	No.	事業名	新規 計画	重点 未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R2)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R2 現計予算 (円)	R2 決算見込 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
									R	R	R	R	R	計					
4	(2)	4 ネットパトロール事業	○		-	-	-	-	A					a	市内中・高校生を対象に、ネット上の学校非公式サイト等の検索を行い、学校非公式サイトの実態を把握し、児童・生徒の生命及び健康を脅かす事態の発展を未然に防止する。	1,500,000	1,078,000	引き続き、市内中・高校生を対象に、ネット上の学校非公式サイト等の検索を行い、学校非公式サイトの実態を把握し、児童・生徒の生命及び健康を脅かす事態の発展を未然に防止していく。	教育指導課
4	(2)	5 青少年悩みごと相談事業	○		-	-	-	-	A					a	少年指導センター指導員により、市内青少年とその家族に対し、青少年が抱えている将来への不安や働くことへの悩み等の相談を受け、関係機関につなぐなどの対応を行った。 【令和2年度相談件数】23件	0	0	引き続き、相談に対応する。	こども育成課
4	(2)	6 非行防止活動	○		-	-	-	-	B					b	青少年の健全育成のため、少年補導員を委嘱し、街頭補導活動を通じて青少年への声掛け等を実施した。 【令和2年度声掛け件数】564人 【令和2年度延従事者数】560人	4,050,000	1,245,200	令和2年度は新型コロナウイルスの影響で、活動が中止となる機会が多く、また、青少年も緊急事態宣言等により屋外にいることが減ったため、声掛け件数が少なくなった。今後は、感染状況を注視しつつ、徐々に活動を再開させていく。	こども育成課
4	(3)	1 こども110番の家			-	-	-	-	A					a	こども110番の家の運営主体は、地域・学校・PTAであるが、その活動を支援するため、市民会議事業において看板を制作し、新規登録者や汚破損による掛け替えに対応した。	0	0	引き続き、市民会議事業として看板を制作し、地域・学校・PTAの活動を支援していく。	こども育成課
4	(3)	2 交通安全教室	○		実施回数	187	46	190	C					c	毎年度、市内各小学校を中心に交通安全教室を実施し、交通安全思想を普及している。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、交通安全教室を中止する学校等が相次いだ。	3,569,400	1,392,000	今後も依頼に基づき教室を実施していく。	防犯・交通安全課
4	(3)	3 児童の登校時の交通安全指導			-	-	-	-	A					a	小学校の登校日に登校指導を実施し、児童の登校時における交通安全の確保を図った。	11,342,400	10,842,000	引き続き、児童の登校時における交通安全の確保、正しい交通ルールとマナーの指導を図るために実施していく。	防犯・交通安全課
4	(3)	4 安全・安心な通学路等の確保			-	-	-	-	A					a	毎年度、各小中学校から提出される通学路安全点検票に基づき、路面標示等による通学路安全対策を実施した。また、地元自治会からの要望に対しても安全対策を実施した。	7,000,000	6,024,700	引き続き緊急度の高いものから順次実施する。地域からの要望に対して、現場を確認しながら、必要な対策を実施していることから、計画は達成できる見込みである。	防犯・交通安全課
4	(3)	4 安全・安心な通学路等の確保			-	-	-	-	A					a	各小中学校から提出された要望について、関係課と連携し、都度対応し、通学路の改善を行っている。	0	0	引き続き、関係課と連携し、安心・安全な通学路の確保に努める。	教育指導課
4	(3)	5 防犯情報等の提供			メール登録件数	7,811	9,748	10,800	A					a	各種イベント、防犯のまちづくり出前講座等あらゆる機会を通じて呼びかけた結果、登録件数は増加しているが、目標事業量には達しなかった。	0	0	随時、犯罪情報等を配信し、行政・警察・事業所・地域住民が情報の共有化を図り、連携の強化と地域における自主防犯活動を引き続き推進する。メール配信サービスの周知を引き続き行うことにより、今期計画中の達成を目指す。	防犯・交通安全課
4	(4)	1 日本語教室	○	○	外国籍市民参加者数	4,008	232	4,200	C					c	コロナ禍の影響により、センターの閉鎖や年間を通じて「クラッセで日本語教室」が開催休止に追い込まれたが、そのような状況においてもNPO法人日本語教育ネットワークとの共催の日本語教室を実施することができた。	179,280	91,470	コロナ禍をきっかけに運営体制の変更について検討を進める。	国際文化交流課

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	施策 No.	事業名	新規 計画	重点 未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R2)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R2 現計予算 (円)	R2 決算見込 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課	
									R	R	R	R	R	計						
4	(4)	2 国際理解講座	○		-	-	-	-	D						d	コロナ禍の影響により、オリンピック関連事業として実施予定だった国際理解講座は、オリンピック開催延期などの理由により、令和2年度は開催しなかった。	100,000	0	これまで東京オリンピック関連事業に位置付け、開催してきたが、今後は多文化共生理解講座に変更して実施することを検討中。	国際文化交流課
4	(4)	3 姉妹・友好都市交流の充実	○		-	-	-	-	D					d	コロナ禍の影響により、国内外の交流事業は全て中止となった。	1,299,000	13,940	令和3年度も交流事業が中止されたため、過去の派遣生OBらによる中高生向けシンポジウムを代替事業として開催予定。	国際文化交流課	
5	(1)	1 児童手当			-	-	-	-	A					a	児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することができた。	5,230,870,000	5,198,210,000	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資するため、引き続き適正に児童手当を支給する。	子ども政策課	
5	(1)	2 児童扶養手当		○	-	-	-	-	A					a	父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進を図るため、当該児童を養育している者に児童扶養手当を支給した。 総支給額 998,778,070円 受給資格者 2,134人(令和2年度末現在)	999,400,000	998,778,070	適切な支給、管理及び制度案内等を行い、引き続き、適切に児童扶養手当の支給、管理を行っていく。	子ども家庭課	
5	(1)	3 ひとり親家庭等医療費の助成			-	-	-	-	A					a	ひとり親家庭等に医療費の一部を支給することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図ることができた。	65,984,000	58,879,636	ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図るためにひとり親家庭等に医療費の一部を引き続き支給する。 令和4年度から埼玉県内の医療機関を対象に現物給付化する予定がある。	子ども政策課	
5	(1)	4 川越市遺児手当			-	-	-	-	A					a	遺児の保護者に遺児手当を支給することにより、これら遺児の健全な育成を図ることができた。	1,156,000	1,156,000	遺児の健全な育成を図るため、遺児の保護者に引き続き適正に遺児手当を支給する。	子ども政策課	
5	(1)	5 ひとり親家庭相談		○	-	-	-	-	A					a	母子父子自立支援員を3名配置し、ひとり親家庭の様々な相談に応じるとともに、関係課との連携を図ることで、相談業務を円滑に実施することができた。 【相談件数】 母子 5,214件 父子 263件	8,717,187	8,717,187	相談内容に応じて、関係機関へのつなぎや情報共有ができています。 引き続き、ひとり親家庭の様々な相談に応じる体制を整え、当該家庭の自立と福祉の推進を図る。 ※当該事業は人件費等のため予算額については決算見込み額を記入した。	子ども家庭課	
5	(1)	6 ひとり親家庭等日常生活支援事業		○	-	-	-	-	D					d	一時的に生活困難になった家庭に対して、支援員を派遣することで当該家庭の自立と福祉の増進を図ってきたが、利用に係る相談はなかった。	180,000	0	引き続き、支援が必要なひとり親家庭に支援員を派遣し、当該家庭の自立と福祉の増進を図るとともに、ニーズの把握と制度の周知を図る。 利用実績がない状況であるため、セーフティネットとしての役割を考慮した上で、事業の見直しを図っていく。	子ども家庭課	
5	(1)	7 母子父子寡婦福祉資金貸付事業		○	-	-	-	-	A					a	ひとり親家庭などを対象に修学に必要な資金などを適切に貸し付けることで、経済的自立を支援できた。 【貸付件数】 母子 77件 父子 6件 寡婦 2件	91,100,000	51,036,841	法改正に対応し適切な資金貸し付けを行うことで、ひとり親家庭の経済的支援につながっている。 引き続き、ひとり親家庭の父母及び寡婦の自立とその児童の福祉を推進するため、必要な資金を貸し付けるとともに、資金の償還の際には適切な助言、支援を行っていく。	子ども家庭課	
5	(1)	8 母子家庭等就業・自立支援センター事業	○	○	延べ利用者数	214	132	300	C					c	しごと支援センター及び自立相談支援センターと連携し、就業支援専門員による就労相談を実施することで、ひとり親家庭等の自立を支援することができた。 なお、就労支援パソコン講座については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は中止した。	800,136	775,409	引き続き、託児付き講座等の開催、就労相談の実施により、就労面から母子家庭等の自立を支援していく。 また、就労支援パソコン講座については、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、事業の再開を検討していく。	子ども家庭課	

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	実施 No.	事業名	新規 計画	重点 点	未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R2)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R2 現計予算 (円)	R2 決算見込 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課		
										R	R	R	R	R	計							
5	(1)	9	ひとり親家庭等生活 向上事業			○	延べ参加者数	35	0	80	D							新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度中は事業を中止した。	86,063	0	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、事業の再開を検討していく。	子ども家庭課
5	(1)	10	自立支援給付金事業			○	-	-	-	-	A							ひとり親家庭の母及び父を対象に、高等職業訓練促進給付金等を適切に支給し、受給者の経済的な自立を支援することができた。 【支給件数】 高等職業 35件 教育訓練 7件	51,384,200	36,494,040	制度改正により要件の緩和や支給期間の延長など、支援の充実が図られている。引き続き、主体的な資格取得のために、給付金を支給し、母子家庭及び父子家庭の自立を支援していく。	子ども家庭課
5	(1)	11	母子・父子自立支援 プログラム策定等事 業			○	延べ利用者数	42	71	50	A							児童扶養手当受給者を対象に自立支援プログラム策定事業を実施し、自立促進のための就労支援を効果的に実施することができた。また、ハローワークとの連携により就労支援を行った。	260,000	260,000	引き続き、児童扶養手当受給者の自立を支援するために自立支援プログラムを策定し、ハローワークと連携しながら継続的な就労支援を行っていく。 また、児童扶養手当現況届の際にハローワークによる集中相談を実施する。	子ども家庭課
5	(1)	12	公営住宅における優 遇登録			○	-	-	-	-	A							登録方式による入居募集に際し、母子世帯、多子世帯を対象に優遇して登録を行った。 【母子世帯の登録数】6世帯 【多子世帯の登録数】3世帯	0	0	住宅困窮判定基準に基づき、原則として、登録方式での優遇を中心に行っていく。	建築住宅課
5	(1)	13	母子家庭等地域生活 支援事業	○		○	-	-	-	-	C							母子家庭等の日常生活に係る相談はひとり親家庭相談にて実施しているが、養育費に関する相談は、法テラス等の専門機関を紹介した。	0	0	日常生活に関する相談については引き続き実施するとともに、養育費に関する相談も一体的に実施できるよう方策を検討する。	子ども家庭課
5	(1)	14	生活困窮者自立支援 事業	○		○	○	就労支援対象者の 就労・増収率	77.9%	75.4%	80.0%	A						生活困窮者等に対する包括的かつ継続的な支援を実施した。相談者のうち就労支援の対象者においては、就労の実現または増収を図った。指標とした数値についてはわずかに目標を下回ったが、概ね順調である。	94,285,000	91,054,177	継続して事業の実施に努める。	生活福祉課
5	(1)	15	生活保護事業	○		○	-	-	-	-	A							世帯の状況により、必要な支援を実施している。	7,572,532,000	7,436,092,605	継続して事業の実施に努める。	生活福祉課
5	(2)	1	ひとり親家庭等学習 支援事業			○	○	利用人数	95	91	110	B						ひとり親世帯等の児童の学習を支援することで児童の学習意欲の向上に努めた。また、令和2年度から事業者を変更し、不登校児等にもきめ細やかな対応を実施している。 なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、事業開始を6月からとした。	14,101,883	13,927,992	例年利用希望者も多く、放課後の学習する場としてだけでなく、子どもの貧困対策に資する「子どもの居場所」としても機能している。 引き続き事業を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により通所を躊躇う方のため、郵送等での学習支援についても検討する。	子ども家庭課
5	(2)	2	川越市生活困窮者学 習・生活支援事業	○		○	○	利用人数	53	35	65	C						貧困が世帯を超えて連鎖することがないよう、生活困窮世帯(生活保護世帯を含む)の子ども及びその保護者に対して、居場所づくりを中心とした将来の自立に向けた包括的な支援を行った。 令和2年度から事業者が変更になったこと、新型コロナウイルス感染症の影響により会場での教室が年度当初開催できなかったことなどにより利用人数が目標を下回った。	9,208,447	9,192,612	生活保護受給世帯に対して利用勧奨を行う。	生活福祉課
5	(2)	3	ひとり親家庭高等学 校卒業程度認定試験 合格支援事業	○		○	-	-	-	-	A							ひとり親家庭の父母の自立とその児童の福祉を増進するため、高等学校卒業程度認定試験の合格を目指す者に、講座等に要した経費に基づき給付金を支給する。 【支給件数】1件	150,000	150,000	引き続き、ひとり親家庭の父母及び寡婦の自立とその児童の福祉を増進するため、必要な方に給付金を支給していく。	子ども家庭課

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	実施 目標 No.	事業名	新規 計画	重点 未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R2)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R2 現計予算 (円)	R2 決算見込 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課	
									R	R	R	R	R	計						
	5 (2)	4 高等教育機関等における修学への支援	○	○	-	-	-	-	A						a	国・県の修学支援制度の利用に併せて、支援を必要とする学生等に経済的支援を行うことができた。 ○川越市育英資金新規貸付件数 入学準備金 16人(基金から5,390,000円) 学資金 9人(基金から2,676,000円) ○川越市大学奨学金 新規奨学生 5人	20,590,000	17,460,000	国・県の支援制度の動向を注視し、また、本市財政事情及び社会状況等を勘案しながら、今後も経済的支援を必要とする学生等に支援が届くよう、効率的な運営に努める。	教育総務課
	5 (2)	5 準要保護児童生徒に対する就学援助	○	○	-	-	-	-	A					a	・小学校 受給者数2,828人 中学校 受給者数1,590人 ・令和3年度入学者に新入学児童生徒学用品費等の早期支給を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変した場合には、直近3か月の経済状況を考慮した審査を行い、支援を受けやすくなるよう対応した。	338,236,000	294,026,403	・今後も引き続き就学援助を必要とする方が利用しやすいよう制度の充実に努める。	教育財務課	
	5 (2)	6 実費徴収に係る補足給付を行う事業		○	○	延べ利用者数	20	702	1,314	A				a	生活保護受給世帯等の児童の保育に係る実費徴収額に加え、新制度未移行の幼稚園における副食材料費の実費徴収額に対し、補足給付を行うことで、保育等の利用を図れた。	31,800,000	19,268,586	事業の周知を更に図り、生活保護受給世帯等の児童が、保育等を円滑に利用できるよう、実費徴収額に対し補足給付を行うことで、計画達成に努める。	保育課	
	5 (2)	7 子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業	○	○	-	-	-	-	A					a	地域における多様な関係者の連携・協力による支援体制のネットワーク構築を支援するため、川越市社会福祉協議会と今後のネットワーク構築について意見交換を行った。	0	0	川越市社会福祉協議会を中心とした、地域における多様な関係者の連携・協力による支援体制のネットワーク構築の支援に努める。	こども政策課	
	5 (3)	1 要保護児童対策地域協議会		○		実務者会議開催回数	6	18	21	B				b	要保護児童等の早期発見や適切な支援を図るため、当協議会において関係機関が情報や考え方を共有し、適切な連携ができるよう協議した結果、早期発見や適切な支援を行うことができた。新型コロナウイルス感染症の影響により、研修の開催は見合わせた。	423,040	0	引き続き、会議を開催するとともに、必要に応じて関係機関の緊密な情報交換を実施し、効果的かつ効果的な会議を目指す。	こども家庭課	
	5 (3)	2 児童虐待防止の啓発活動		○		講座への講師派遣回数	7	3	4	B				b	新型コロナウイルス感染症の影響で関係機関の研修会等の機会が減少しているが、必要な機会をとりえて児童虐待に関する周知啓発を行うことができた。	1,232,000	0	新型コロナウイルス感染症対策を考慮しながら、市民や関係機関に対して、児童虐待防止の啓発活動を行っていく。	こども家庭課	
	5 (3)	3 児童虐待防止SOSセンター事業	○			-	-	-	A					a	フリーダイヤルで児童虐待の通告や虐待をしまいそうな保護者からの相談を受ける環境を整え、児童虐待の早期発見・早期対応につなげることができた。 【相談受付件数】564件	204,495	153,026	事業の周知を進め、引き続き事業を継続していく。	こども家庭課	
	5 (3)	4 養育支援訪問事業	○	○	家事育児援助利用人数	9	5	13	C					c	「こんにちは赤ちゃん事業」や関係機関等からの情報収集等により把握した養育支援が必要であると認めた家庭に対し、育児・家事の援助又は育児支援に関する技術的援助を専門の相談員等が訪問により実施することにより、養育に不安のある家庭の不安軽減、育児技術の向上を図ることができた。実績値については他律的なものであり未達となったが、訪問相談やヘルパー派遣の提供体制を確保できていると考えている。	2,206,000	549,000	引き続き、出生後早期の相談支援を行うとともに、ニーズの把握に努め、効率的な運営を図る。 支援が必要な家庭の把握に努め、訪問相談、ヘルパー派遣ができる提供体制を確保できていることから、計画達成がなされるものと考えている。	こども家庭課	
	5 (3)	5 子ども家庭総合支援拠点の整備・運営	○	○	開設箇所数	0	0	1	D					d	令和4年度中に整備することが求められており、現在準備を行っている。	0	0	引き続き、拠点開設に向け準備を行っていく。	こども家庭課	

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	施策 No.	事業名	新規 計画	重点 未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R2)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R2 現計予算 (円)	R2 決算見込 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
									R	R	R	R	R	計					
5	(3)	6 家庭児童相談			-	-	-	-	A					a	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じることで、相談者の不安軽減等を図ることができた。 【相談件数】12,846件	0	0	引き続き、子どもの発達に関すること、学校生活、家族関係などの相談に応じていく。	こども家庭課
5	(3)	7 ふれあい親子支援事業			-	-	-	-	B					b	育児不安が強く支援が必要な保護者に対し、相談支援を行い、不安の解消に努めた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、グループミーティングは実施せず、個別対応にて事業を実施した。	0	0	今後も、継続して事業を実施し、育児不安の解消が図れるよう支援していく。今後は感染状況により、実施形態を検討していく。	健康づくり支援課
5	(3)	8 保健師等による訪問指導			-	-	-	-	A					a	訪問による支援が必要な母子に対し、保健師等による訪問指導を行った。	0	0	今後も、継続して事業を実施し、育児不安の解消が図れるよう支援していく。	健康づくり支援課
5	(3)	9 乳幼児健診未受診等育児支援訪問事業	○		-	-	-	-	A					a	訪問等により乳幼児健診未受診世帯に対して受診勧奨や育児支援を行った。	0	0	乳幼児健診未受診世帯に対して、受診勧奨や育児支援を行い、児童虐待予防、育児不安の解消を図っていく。	健康づくり支援課
5	(3)	10 妊娠期からの虐待予防強化事業			-	-	-	-	A					a	県内の産婦人科医療機関等と連携し、妊娠期の段階から支援が必要とされる家庭を積極的に把握するとともに、訪問等を行い、早期に育児不安の解消を図った。	0	0	今後も、継続して事業を実施し、支援が必要とされる家庭を積極的に把握し、育児不安の解消が図れるよう支援していく。	健康づくり支援課
5	(3)	11 どならない子育て練習法講座			開催回数	5		1	5	C				c	新型コロナウイルスの影響により、令和2年度の開催を行えない時期があったが、保護者支援のプログラムとして、保護者が暴力や暴言を使わずに子どもを育てる技術を学ぶことができた。	31,320	10,560	新型コロナウイルス感染症対策を考慮しながら、保護者を対象として、講座の開催を行っていく。	こども家庭課
5	(4)	1 児童発達支援センターの運営	○		一般相談件数	-	254	320	B					b	子どもの心身の発達や障害に関する総合的な相談を行うことができた。	0	0	今後も保護者や関係機関からのさまざまな相談に応じ、適切な支援や福祉サービス、専門の相談機関に繋ぐ役割を果たしていくようにする。	療育支援課
5	(4)	2 障害児通所支援事業の充実	○		重症心身障害児を主たる対象とする事業所数	2	2	3	C					c	事業所開所希望の者に事業所整備及び充実に向けた情報提供、相談及び助言等を行った。	0	0	引き続き、提供事業所を充実させるよう、各事業者等に情報提供、相談及び助言等の支援を行っていく。	療育支援課
5	(4)	3 生活サポート事業			利用者数	128	97	220	C					c	サービスの利用にあたり補助を行っており、経過は順調であるが、新型コロナウイルスによる外出自粛等により利用が減ったものと思われる。	47,383,345	31,363,750	サービスの利用にあたり、その利用料の自己負担額の軽減を図るため所得に応じた補助を継続して行う。経済的負担の軽減が図れており、引き続き、計画達成に向けて努める。	障害者福祉課
5	(4)	4 特別児童扶養手当			-	-	-	-	A					a	精神または身体に一定の障害がある20歳未満の児童を養育する父母等が国から受給する特別児童扶養手当の受給資格に係る各種届出等の事務処理を行い、児童の福祉の増進を図ることができた。	202,000	147,041	精神または身体に一定の障害がある20歳未満の児童を養育する父母等が国から受給する特別児童扶養手当の受給資格に係る各種届出等の事務処理を行うことにより児童の福祉の増進を図る。 【参考：支給額】307,789,500円 ※全額国から支給	こども政策課
5	(4)	5 障害児福祉手当			-	-	-	-	A					a	重度の障害児に対して、経済的及び精神的負担の軽減を図るため障害児福祉手当を支給した。 14,790円×356人＝5,265,240円 14,880円×1,808人＝26,903,040円 (延べ人数) ※年度途中で単価の変更あり	33,011,280	32,168,280	本手当は国からの法定受託事務であり、引き続き重度の障害児に対して、経済的及び精神的負担の軽減を図るため障害児福祉手当を支給していく。 引き続き、対象者への手当の周知に努める。	障害者福祉課
5	(4)	6 障害者等相談支援事業			利用者数	115	98	130	B					b	障害児あるいはその支援者からの相談に応じた人数を計上している。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下の活動自粛や外出自粛等により利用が減ったものと思われる。	68,485,818	64,973,994	地域の障害児(者)が自立した生活を送ることができるよう、必要な助言及び支援を行う。	障害者福祉課

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	実施 目標	No.	事業名	新規 計画	重点 計画	未来 計画	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R2)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R2 現計予算 (円)	R2 決算見込 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
											R	R	R	R	R	計					
5	(4)	7	グループ指導会				開催回数	32	30	32	A				a	新型コロナウイルスの影響により、令和2年度の開催を行えない時期があったが、3歳児健診等により発達に遅れがある子どもや子どもの発達を心配する保護者に対して、親子での交流や保護者同士の交流を図ることができた。	72,264	59,271	1回あたりの参加人数が減少し、民間事業所の増加も見られることから、事業廃止を検討したい。	こども家庭課	
5	(4)	8	障害のある子どもに対する教職員研修事業				-	-	-	-	C				c	特別支援教育への理解を深めるため、特別支援学級担任や特別支援教育コーディネーターだけでなく、通常の学級の担任や通級指導教室担当、管理職に向けた研修などを実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの研修が机上研修となった。また、埼玉大学との共同研究では、オンラインによる事例検討研修を複数回実施した。	520,000	20,000	今後も継続して管理職や教職員の特別支援教育への理解を深める必要がある。そのため、研修を受ける教職員の経験や立場に応じて研修内容を精選し、より充実した内容の研修になるように計画する。また、教職員の特別支援教育への理解を深めることで、特別支援教育の人材育成に取り組む。	教育センター	
5	(4)	9	未熟児・長期療養児訪問指導				-	-	-	-	A				a	訪問による指導が必要な未熟児・長期療養児世帯に対し、保健師等による訪問指導を実施した。	0	0	今後も、継続して事業を実施し、育児不安の解消が図れるよう支援していく。	健康づくり支援課	
5	(4)	10	未熟児養育医療給付				-	-	-	-	A				a	養育のため指定養育医療機関に入院加療が必要な未熟児等に対して、その養育に必要な医療給付を行う。	25,000,000	18,653,850	令和3年度以降も当事業を継続して実施することとし、対象となる保護者の経済的負担の軽減を図る。	健康管理課	
5	(4)	11	自立支援医療(育成医療)給付				-	-	-	-	A				a	身体に障害のある児童に対して、健全育成・福祉の向上を図るため必要な医療の給付を行う。	7,229,000	4,208,698	令和3年度以降も当事業を継続して実施することとし、対象となる保護者の経済的負担の軽減を図る。	健康管理課	
5	(4)	12	小児慢性特定疾病医療給付				-	-	-	-	A				a	小児慢性特定疾患のうち、国が指定した特定疾患について病気の治療研究を推進し、家族の経済的負担を軽減するため、必要な医療の給付を行う。	114,936,567	114,936,567	令和3年度以降も当事業を継続して実施することとし、対象となる保護者の経済的負担の軽減を図る。	健康管理課	
5	(4)	13	特別支援教育の理解促進				-	-	-	-	B				b	「就学相談セミナー」や「発達障害セミナー」を開催し、就学相談の流れや発達障害について保護者に説明することができた。特別支援学級の授業公開については、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、各校1回開催することができた。特別支援教育推進委員会では、令和元年度に作成した冊子を活用するための資料を作成し、教職員の理解啓発に取り組むことができた。	0	0	「就学相談セミナー」や「発達障害セミナー」については、今後も継続して実施することで保護者や市民の理解・啓発に努める。特別支援学級の授業公開については、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、例年通り(各校2回)の実施ができるように検討・準備を行う。特別支援学級設置校数を増やすことにより、より多くの地域での授業公開が望めるようにしていく。	教育センター	

5. 教育・保育の量の見込みと確保方策実績

評価基準(保育比較値):実績値>=必要量:A、実績値<必要量-1~-499:B、実績値<必要量-500~:C

全体確保量(見込み)	令和2年度実績					令和3年度実績					令和4年度実績					令和5年度実績					令和6年度実績				
	1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号	
		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳
必要量	4,086	1,256	2,927	421	2,178			0	0	0			0	0	0			0	0	0			0	0	0
他市町の子ども		570	21	1	4			0	0	0			0	0	0			0	0	0			0	0	0
必要量計(A)		5,912	2,948	422	2,182			0	0	0			0	0	0			0	0	0			0	0	0
必要量(認定実績数)	4,005	1,262	2,908	391	2,261			0	0	0			0	0	0			0	0	0			0	0	0
他市町の子ども(〃)		397	0	0	0			0	0	0			0	0	0			0	0	0			0	0	0
必要量計(A')		5,664	2,908	391	2,261			0	0	0			0	0	0			0	0	0			0	0	0
方策別実績	特定教育・保育施設		581	3,164	418	1,647			0	0	0			0	0	0			0	0	0			0	0
	他市町の子ども		(285)	(9)	0	(3)																			
	確認を受けない幼稚園		6,195	0	0	0			0	0	0			0	0	0			0	0	0			0	0
	他市町の子ども		482	0	0	0			0	0	0			0	0	0			0	0	0			0	0
	特定地域型保育事業		-	0	103	382			0	0	0			0	0	0			0	0	0			0	0
	他市町の子ども		-	0	0	(2)																			
	他市町の施設利用		477	27	3	13			0	0	0			0	0	0			0	0	0			0	0
	確保量実績計(B)		7,735	3,191	524	2,042			0	0	0			0	0	0			0	0	0			0	0
(B)-(A)		2,071	283	133	▲219			0	0	0			0	0	0			0	0	0			0	0	
保育比較				197				0					0					0					0		
全体比較			2,268					0					0					0					0		
評価			A																						

【A地区】本庁・山田・芳野・古谷 確保量(見込み)	令和2年度実績					令和3年度実績					令和4年度実績					令和5年度実績					令和6年度実績				
	1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号	
		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳
必要量	-	-	1,356	195	1,009																				
他市町の子ども			1	1	1																				
必要量計(A)		0	1,357	196	1,010			0	0	0			0	0	0			0	0	0			0	0	
必要量(認定実績数)	-	-	1,302	178	1,021																				
他市町の子ども(〃)			0	0	0																				
必要量計(A')		0	1,302	178	1,021			0	0	0			0	0	0			0	0	0			0	0	
方策別実績	特定教育・保育施設		-	1,463	199	773																			
	他市町の子ども		-	(2)	0	(2)																			
	確認を受けない幼稚園		-	0	0	0																			
	他市町の子ども		-	0	0	0																			
	特定地域型保育事業		-	0	46	188																			
	他市町の子ども		-	0	0	0																			
	他市町の施設利用		-	5	0	4																			
	確保量実績計(B)		0	1,468	245	965			0	0	0			0	0	0			0	0	0			0	
(B)-(A)		0	166	67	▲56			0	0	0			0	0	0			0	0	0			0		
保育比較				177				0					0					0					0		
全体比較			177					0					0					0					0		

【B地区】南古谷・高階 確保量(見込み)	令和2年度実績					令和3年度実績					令和4年度実績					令和5年度実績					令和6年度実績					
	1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号		
		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳	
必要量	-	-	600	86	447																					
他市町の子ども	-	-	13	0	1																					
必要量計(A)	0	613	86	448	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
必要量(認定実績数)	-	-	620	99	539																					
他市町の子ども(〃)	-	-	0	0	0																					
必要量計(A')	0	620	99	539	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
方 策 別 実 績	特定教育・保育施設	-	650	84	332																					
	他市町の子ども	-	(6)	0	0																					
	確認を受けない幼稚園	-	0	0	0																					
	他市町の子ども	-	0	0	0																					
	特定地域型保育事業	-	0	32	113																					
	他市町の子ども	-	0	0	0																					
	他市町の施設利用	-	14	1	2																					
確保量実績計(B)	0	664	117	447	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(B)-(A')	0	44	18	▲92	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
保育比較			▲30				0				0				0				0				0			
全体比較			▲30				0				0				0				0				0			

【C地区】福原・大東 確保量(見込み)	令和2年度実績					令和3年度実績					令和4年度実績					令和5年度実績					令和6年度実績					
	1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号		
		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳	
必要量	-	-	334	48	248																					
他市町の子ども	-	-	2	0	0																					
必要量計(A)	0	336	48	248	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
必要量(認定実績数)	-	-	365	37	258																					
他市町の子ども(〃)	-	-	0	0	0																					
必要量計(A')	0	365	37	258	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
方 策 別 実 績	特定教育・保育施設	-	364	34	161																					
	他市町の子ども	-	0	0	0																					
	確認を受けない幼稚園	-	0	0	0																					
	他市町の子ども	-	0	0	0																					
	特定地域型保育事業	-	0	12	39																					
	他市町の子ども	-	0	0	(1)																					
	他市町の施設利用	-	7	0	3																					
確保量実績計(B)	0	371	46	203	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(B)-(A')	0	6	9	▲55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
保育比較			▲40				0				0				0				0				0			
全体比較			▲40				0				0				0				0				0			

【D地区】霞ヶ関・霞ヶ関北・川鶴・名細 確保量(見込み)	令和2年度実績					令和3年度実績					令和4年度実績					令和5年度実績					令和6年度実績				
	1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号	
		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳
必要量	-	-	637	92	474																				
他市町の子ども			5	0	2																				
必要量計(A)		0	642	92	476		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0
必要量(認定実績数)	-	-	621	77	443																				
他市町の子ども(〃)			0	0	0																				
必要量計(A')		0	621	77	443		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0
方 策 別 実 績	特定教育・保育施設		-	687	101	381																			
	他市町の子ども			(1)	0	(1)																			
	確認を受けない幼稚園			0	0	0																			
	他市町の子ども			0	0	0																			
	特定地域型保育事業			0	13	42																			
	他市町の子ども			0	0	(1)																			
	他市町の施設利用			-	1	2	4																		
確保量実績計(B)		0	688	116	427		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	
(B)-(A)		0	67	39	▲16		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	
保育比較				90				0					0					0					0		
全体比較				90				0					0					0					0		

6. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策実績

評価基準: 達成率90%以上:A、達成率70%以上90%未満:B、達成率70%未満:C、事業実績なし:D、事業終了:E

※事業により他の評価基準適用有

事業名	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度							
利用者支援事業(母子保健型)	箇所	見込量(A)	2	評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価				
		確保実績(B)	2		確保実績(B)		確保実績(B)		確保実績(B)		確保実績(B)		確保実績(B)				
		B-A	0	A	B-A	0	B-A	0	B-A	0	B-A	0	B-A	0			
		達成率	100.0%		達成率		達成率		達成率		達成率		達成率				
		見込量(A)	4	評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	
利用者支援事業(基本型・特定型)	箇所	確保実績(B)	4		確保実績(B)		確保実績(B)		確保実績(B)		確保実績(B)		確保実績(B)				
		B-A	0	A	B-A	0	B-A	0	B-A	0	B-A	0	B-A	0			
		達成率	100.0%		達成率		達成率		達成率		達成率		達成率				
		見込量(A)	2,374	評価	見込量(A)	0	評価	見込量(A)	0	評価	見込量(A)	0	評価	見込量(A)	0	評価	
		確保実績(B)	2,374		確保実績(B)	0		確保実績(B)	0		確保実績(B)	0		確保実績(B)	0		
時間外保育事業(延長保育事業)	人	利用実績	2,032		利用実績	0		利用実績	0		利用実績	0		利用実績	0		
		B-A	0	A	B-A	0	B-A	0	B-A	0	B-A	0	B-A	0			
		達成率	100.0%		達成率		達成率		達成率		達成率		達成率				
		見込量(A)	2,374	評価	見込量(A)	0	評価	見込量(A)	0	評価	見込量(A)	0	評価	見込量(A)	0	評価	
		確保実績(B)	2,374		確保実績(B)	0		確保実績(B)	0		確保実績(B)	0		確保実績(B)	0		
放課後児童健全育成事業(学童保育事業)	低学年	人	見込量(A)	2,331	評価	見込量(A)	0	評価	見込量(A)	0	評価	見込量(A)	0	評価	見込量(A)	0	評価
			確保実績(B)	2,984		確保実績(B)	0		確保実績(B)	0		確保実績(B)	0		確保実績(B)	0	
			利用実績	2,286		利用実績	0		利用実績	0		利用実績	0		利用実績	0	
			B-A	653	A	B-A	0	B-A	0	B-A	0	B-A	0	B-A	0		
			達成率	128.0%		達成率		達成率		達成率		達成率		達成率			
	高学年	人	見込量(A)	691	評価	見込量(A)	0	評価	見込量(A)	0	評価	見込量(A)	0	評価	見込量(A)	0	評価
			確保実績(B)	880		確保実績(B)	0		確保実績(B)	0		確保実績(B)	0		確保実績(B)	0	
			利用実績	663		利用実績	0		利用実績	0		利用実績	0		利用実績	0	
			B-A	189	A	B-A	0	B-A	0	B-A	0	B-A	0	B-A	0		
			達成率	127.4%		達成率		達成率		達成率		達成率		達成率			
子育て短期支援事業	トワイライトステイ事業	人日	見込量(A)	500	評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価
			確保実績(B)	77		確保実績(B)			確保実績(B)			確保実績(B)			確保実績(B)		
			利用実績	77		利用実績			利用実績			利用実績			利用実績		
			B-A	▲423	C	B-A	0	B-A	0	B-A	0	B-A	0	B-A	0		
			達成率	15.4%		達成率		達成率		達成率		達成率		達成率			
	ショートステイ事業	人日	見込量(A)	50	評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価
			確保実績(B)	179		確保実績(B)			確保実績(B)			確保実績(B)			確保実績(B)		
			利用実績	179		利用実績			利用実績			利用実績			利用実績		
			B-A	129	A	B-A	0	B-A	0	B-A	0	B-A	0	B-A	0		
			達成率	358.0%		達成率		達成率		達成率		達成率		達成率			
乳児家庭全戸訪問事業 (ごんには赤ちゃん事業、産婦・新生児訪問指導) ※実績出数	人	見込量(A)	2,432	評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	
		確保実績(B)	2,266		確保実績(B)			確保実績(B)			確保実績(B)			確保実績(B)			
		利用実績※(A')	2,386		利用実績※(A')			利用実績※(A')			利用実績※(A')			利用実績※(A')			
		B-A'	▲120	A	B-A'	0	B-A'	0	B-A'	0	B-A'	0	B-A'	0			
		達成率	95.0%		達成率		達成率		達成率		達成率		達成率				
養育支援訪問事業 その他要支援児童の支援に資する事業	養育支援訪問事業	人	見込量(A)	16	評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価
			確保実績(B)	16		確保実績(B)			確保実績(B)			確保実績(B)			確保実績(B)		
			利用実績	5		利用実績			利用実績			利用実績			利用実績		
			B-A	0	A	B-A	0	B-A	0	B-A	0	B-A	0	B-A	0		
			達成率	100.0%		達成率		達成率		達成率		達成率		達成率			
	要保護児童等	人	見込量(A)	705	評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価
			確保実績(B)	705		確保実績(B)			確保実績(B)			確保実績(B)			確保実績(B)		
			利用実績	719		利用実績			利用実績			利用実績			利用実績		
			B-A	0	A	B-A	0	B-A	0	B-A	0	B-A	0	B-A	0		
			達成率	100.0%		達成率		達成率		達成率		達成率		達成率			
地域子育て支援拠点事業	人回	見込量(A)	96,816	評価	見込量(A)	0	評価	見込量(A)	0	評価	見込量(A)	0	評価	見込量(A)	0	評価	
		確保実績(B)	92,702		確保実績(B)	0		確保実績(B)	0		確保実績(B)	0		確保実績(B)	0		
		利用実績	28,483		利用実績	0		利用実績	0		利用実績	0		利用実績	0		
		B-A	▲4,114	A	B-A	0	B-A	0	B-A	0	B-A	0	B-A	0			
		達成率	95.8%		達成率		達成率		達成率		達成率		達成率				

評価基準:達成率90%以上:A、達成率70%以上90%未満:B、達成率70%未満:C、事業実績なし:D、事業終了:E

※事業により他の評価基準適用有

事業名		単位	令和2年度				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度				
一時預かり事業	幼稚園等	1号認定等による定期的な利用	人日	見込量(A)	15,598	評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価		
				確保実績(B)	13,854	B	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)	
				利用実績	13,854		利用実績			利用実績			利用実績			利用実績			利用実績				
				B-A	▲1,744		B-A	0		B-A	0		B-A	0		B-A	0		B-A	0			
	達成率	88.8%	達成率		達成率			達成率			達成率			達成率									
	2号認定等による一時的な利用	人日	見込量(A)	235,988	評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価			
			確保実績(B)	155,116	C	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		
			利用実績	155,116		利用実績			利用実績			利用実績			利用実績								
			B-A	▲80,872		B-A	0		B-A	0		B-A	0		B-A	0							
	達成率	65.7%	達成率			達成率			達成率			達成率											
	保育所等	一時預かり・一時的保育事業	人日	見込量(A)	12,100	評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価		
				確保実績(B)	58,860	A	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)	
利用実績				6,895	利用実績			利用実績			利用実績			利用実績									
B-A				46,705	B-A		0	B-A		0	B-A		0	B-A		0							
達成率	486.4%	達成率		達成率			達成率			達成率													
病児保育事業等		人日	見込量(A)	1,350	評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価			
			確保実績(B)	1,250	A	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		
			利用実績	450		利用実績			利用実績			利用実績			利用実績								
			B-A	▲100		B-A	0		B-A	0		B-A	0		B-A	0							
達成率	92.6%	達成率		達成率			達成率			達成率													
ファミリー・サポート・センター事業 (子育て援助活動支援事業)		5歳児まで	人日	見込量(A)	2,738	評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価		
				確保実績(B)	1,829	C	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)	
				利用実績	1,829		利用実績			利用実績			利用実績			利用実績							
				B-A	▲909		B-A	0		B-A	0		B-A	0		B-A	0						
		達成率	66.8%	達成率			達成率			達成率			達成率										
		就学後	人日	見込量(A)	6,756	評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価		
				確保実績(B)	4,419	C	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)	
				利用実績	4,419		利用実績			利用実績			利用実績			利用実績							
B-A	▲2,337			B-A	0		B-A	0		B-A	0		B-A	0									
達成率	65.4%	達成率		達成率			達成率			達成率													
妊婦健康診査		人回	見込量(A)	30,071	評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価			
			確保実績(B)	27,920	A	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		
			利用実績	27,920		利用実績			利用実績			利用実績			利用実績								
			B-A	▲2,151		B-A	0		B-A	0		B-A	0		B-A	0							
達成率	92.8%	達成率		達成率			達成率			達成率													
実費徴収に係る補足給付を行う事業		-	見込量(A)	1,392	評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価			
			確保実績(B)	1,392	A	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		
			利用実績	702		利用実績			利用実績			利用実績			利用実績								
			B-A	0		B-A	0		B-A	0		B-A	0		B-A	0							
達成率	100.0%	達成率		達成率			達成率			達成率													
多様な主体が本制度に参入することを促進する事業		-	見込量(A)	-	評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価	見込量(A)		評価			
			確保実績(B)	-	D	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		0	確保実績(B)		
			利用実績	-		利用実績			利用実績			利用実績			利用実績								
			B-A	-		B-A	0		B-A	0		B-A	0		B-A	0							
達成率	-	達成率		達成率			達成率			達成率													

7. 時間外保育事業(延長保育事業)の量の見込みと確保方策実績

<量の見込みと確保方策> 区域:4区域

評価基準:達成率90%以上:A、達成率70%以上90%未満:B、達成率70%未満:C、事業実績なし:D、事業終了:E

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
全体	量の見込み(A)	2,374	0	0	0	0
	確保量実績(B)	2,374	0	0	0	0
	実利用人数	2,032	0	0	0	0
	(B)-(A)	0	0	0	0	0
評価		A				

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
【A地区】 本庁・山田・ 芳野・古谷	量の見込み(A)	1,033				
	確保量実績(B)	1,033				
	実利用人数	974				
	(B)-(A)	0	0	0	0	0
		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
【B地区】 南古谷・高階	量の見込み(A)	452				
	確保量実績(B)	452				
	実利用人数	387				
	(B)-(A)	0	0	0	0	0
		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
【C地区】 福原・大東	量の見込み(A)	305				
	確保量実績(B)	305				
	実利用人数	251				
	(B)-(A)	0	0	0	0	0
		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
【D地区】 霞ヶ関・霞ヶ 関北・川鶴・ 名細	量の見込み(A)	584				
	確保量実績(B)	584				
	実利用人数	420				
	(B)-(A)	0	0	0	0	0

8. 放課後児童健全育成事業(学童保育事業)の量の見込みと確保方策実績

<量の見込みと確保方策> 区域:32区域(小学校区)

評価基準:達成率90%以上:A、達成率70%以上90%未満:B、達成率70%未満:C、事業実績なし:D、事業終了:E

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)	
全体	(A) 量の見込み(1-3年生)	2,331	0	0	0	0	
		量の見込み(4-6年生)	691	0	0	0	0
		(A)合計	3,022	0	0	0	0
	(A') 実利用者数(1-3年生)※1	2,286	0	0	0	0	
		実利用者数(4-6年生)※1	663	0	0	0	0
		(A')合計	2,949	0	0	0	0
	(B) 確保量(1-3年生)	2,984	0	0	0	0	
		確保量(4-6年生)	880	0	0	0	0
		(B)合計	3,864	0	0	0	0
	(B)-(A')	915	0	0	0	0	
	運営基準適合	33/33	33/33	33/33	33/33	33/33	
	評価(1-3年生)	A					
	評価(4-6年生)	A					
評価(全体)	A						

※1 当該年度当初の申込者数(但し、利用日数による按分有)

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)					令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
川越第一小	(A) 量の見込み(1-3年生)	82					新宿小	(A) 量の見込み(1-3年生)	79						
		量の見込み(4-6年生)	33							量の見込み(4-6年生)	20				
		(A)合計	115	0	0	0			0	(A)合計	99	0	0	0	0
	(A') 実利用者数(1-3年生)	78						(A') 実利用者数(1-3年生)	73						
		実利用者数(4-6年生)	31							実利用者数(4-6年生)	19				
		(A')合計	109	0	0	0			0	(A')合計	92	0	0	0	0
	(B) 確保量(1-3年生)	86						(B) 確保量(1-3年生)	106						
確保量(4-6年生)		35					確保量(4-6年生)		27						
基準適合	(B)合計	121	0	0	0	0	基準適合	(B)合計	133	0	0	0	0	0	
○	(B)-(A')	12	0	0	0	0	○	(B)-(A')	41	0	0	0	0	0	
川越小	(A) 量の見込み(1-3年生)	66					大塚小	(A) 量の見込み(1-3年生)	55						
		量の見込み(4-6年生)	12							量の見込み(4-6年生)	21				
		(A)合計	78	0	0	0			0	(A)合計	76	0	0	0	0
	(A') 実利用者数(1-3年生)	66						(A') 実利用者数(1-3年生)	50						
		実利用者数(4-6年生)	12							実利用者数(4-6年生)	19				
		(A')合計	78	0	0	0			0	(A')合計	69	0	0	0	0
	(B) 確保量(1-3年生)	133						(B) 確保量(1-3年生)	74						
確保量(4-6年生)		24					確保量(4-6年生)		28						
基準適合	(B)合計	157	0	0	0	0	基準適合	(B)合計	102	0	0	0	0		
○	(B)-(A')	79	0	0	0	0	○	(B)-(A')	33	0	0	0	0		

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)			令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)		
中央小	(A)	量の見込み(1-3年生)	60					泉小	(A)	量の見込み(1-3年生)	59				
		量の見込み(4-6年生)	19							量の見込み(4-6年生)	7				
		(A)合計	79	0	0	0	0			(A)合計	66	0	0	0	0
	(A')	実利用者数(1-3年生)	66						(A')	実利用者数(1-3年生)	67				
		実利用者数(4-6年生)	21							実利用者数(4-6年生)	8				
		(A')合計	87	0	0	0	0			(A')合計	75	0	0	0	0
(B)	確保量(1-3年生)	112					(B)	確保量(1-3年生)	83						
	確保量(4-6年生)	35						確保量(4-6年生)	10						
基準適合	(B)合計	147	0	0	0	0	基準適合	(B)合計	93	0	0	0	0		
○	(B)-(A')	60	0	0	0	0	○	(B)-(A')	18	0	0	0	0		
		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)			令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)		
仙波小	(A)	量の見込み(1-3年生)	129					月越小	(A)	量の見込み(1-3年生)	45				
		量の見込み(4-6年生)	37							量の見込み(4-6年生)	7				
		(A)合計	166	0	0	0	0			(A)合計	52	0	0	0	0
	(A')	実利用者数(1-3年生)	129						(A')	実利用者数(1-3年生)	42				
		実利用者数(4-6年生)	37							実利用者数(4-6年生)	7				
		(A')合計	166	0	0	0	0			(A')合計	49	0	0	0	0
(B)	確保量(1-3年生)	144					(B)	確保量(1-3年生)	44						
	確保量(4-6年生)	41						確保量(4-6年生)	7						
基準適合	(B)合計	185	0	0	0	0	基準適合	(B)合計	51	0	0	0	0		
○	(B)-(A')	19	0	0	0	0	○	(B)-(A')	2	0	0	0	0		
		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)			令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)		
武蔵野小	(A)	量の見込み(1-3年生)	83					今成小	(A)	量の見込み(1-3年生)	48				
		量の見込み(4-6年生)	19							量の見込み(4-6年生)	15				
		(A)合計	102	0	0	0	0			(A)合計	63	0	0	0	0
	(A')	実利用者数(1-3年生)	77						(A')	実利用者数(1-3年生)	42				
		実利用者数(4-6年生)	18							実利用者数(4-6年生)	13				
		(A')合計	95	0	0	0	0			(A')合計	55	0	0	0	0
(B)	確保量(1-3年生)	98					(B)	確保量(1-3年生)	49						
	確保量(4-6年生)	23						確保量(4-6年生)	15						
基準適合	(B)合計	121	0	0	0	0	基準適合	(B)合計	64	0	0	0	0		
○	(B)-(A')	26	0	0	0	0	○	(B)-(A')	9	0	0	0	0		
		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)			令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)		
芳野小	(A)	量の見込み(1-3年生)	21					寺尾小	(A)	量の見込み(1-3年生)	61				
		量の見込み(4-6年生)	22							量の見込み(4-6年生)	8				
		(A)合計	43	0	0	0	0			(A)合計	69	0	0	0	0
	(A')	実利用者数(1-3年生)	16						(A')	実利用者数(1-3年生)	68				
		実利用者数(4-6年生)	17							実利用者数(4-6年生)	9				
		(A')合計	33	0	0	0	0			(A')合計	77	0	0	0	0
(B)	確保量(1-3年生)	23					(B)	確保量(1-3年生)	86						
	確保量(4-6年生)	25						確保量(4-6年生)	11						
基準適合	(B)合計	48	0	0	0	0	基準適合	(B)合計	97	0	0	0	0		
○	(B)-(A')	15	0	0	0	0	○	(B)-(A')	20	0	0	0	0		
		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)			令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)		
古谷小	(A)	量の見込み(1-3年生)	69					福原小	(A)	量の見込み(1-3年生)	94				
		量の見込み(4-6年生)	12							量の見込み(4-6年生)	18				
		(A)合計	81	0	0	0	0			(A)合計	112	0	0	0	0
	(A')	実利用者数(1-3年生)	67						(A')	実利用者数(1-3年生)	86				
		実利用者数(4-6年生)	12							実利用者数(4-6年生)	16				
		(A')合計	79	0	0	0	0			(A')合計	102	0	0	0	0
(B)	確保量(1-3年生)	97					(B)	確保量(1-3年生)	86						
	確保量(4-6年生)	17						確保量(4-6年生)	17						
基準適合	(B)合計	114	0	0	0	0	基準適合	(B)合計	103	0	0	0	0		
○	(B)-(A')	35	0	0	0	0	○	(B)-(A')	1	0	0	0	0		

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)			令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)	
南古谷小	(A)	量の見込み(1-3年生)	138					大東東小	量の見込み(1-3年生)	73				
		量の見込み(4-6年生)	28						量の見込み(4-6年生)	13				
		(A)合計	166	0	0	0	0		(A)合計	86	0	0	0	0
	(A')	実利用者数(1-3年生)	152					(A')	実利用者数(1-3年生)	71				
		実利用者数(4-6年生)	31						実利用者数(4-6年生)	13				
	(A')合計	183	0	0	0	0		(A')合計	84	0	0	0	0	
(B)	確保量(1-3年生)	162					(B)	確保量(1-3年生)	80					
	確保量(4-6年生)	33						確保量(4-6年生)	14					
基準適合	(B)合計	195	0	0	0	0	基準適合	(B)合計	94	0	0	0	0	
○	(B)-(A')	12	0	0	0	0	○	(B)-(A')	10	0	0	0	0	
		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)			令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)	
牛子小	(A)	量の見込み(1-3年生)	68					大東西小	量の見込み(1-3年生)	94				
		量の見込み(4-6年生)	20						量の見込み(4-6年生)	36				
		(A)合計	88	0	0	0	0		(A)合計	130	0	0	0	0
	(A')	実利用者数(1-3年生)	70					(A')	実利用者数(1-3年生)	85				
		実利用者数(4-6年生)	21						実利用者数(4-6年生)	32				
	(A')合計	91	0	0	0	0		(A')合計	117	0	0	0	0	
(B)	確保量(1-3年生)	103					(B)	確保量(1-3年生)	134					
	確保量(4-6年生)	30						確保量(4-6年生)	52					
基準適合	(B)合計	133	0	0	0	0	基準適合	(B)合計	186	0	0	0	0	
○	(B)-(A')	42	0	0	0	0	○	(B)-(A')	69	0	0	0	0	
		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)			令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)	
高階小	(A)	量の見込み(1-3年生)	84					霞ヶ関小	量の見込み(1-3年生)	79				
		量の見込み(4-6年生)	30						量の見込み(4-6年生)	31				
		(A)合計	114	0	0	0	0		(A)合計	110	0	0	0	0
	(A')	実利用者数(1-3年生)	88					(A')	実利用者数(1-3年生)	75				
		実利用者数(4-6年生)	32						実利用者数(4-6年生)	30				
	(A')合計	120	0	0	0	0		(A')合計	105	0	0	0	0	
(B)	確保量(1-3年生)	94					(B)	確保量(1-3年生)	110					
	確保量(4-6年生)	34						確保量(4-6年生)	43					
基準適合	(B)合計	128	0	0	0	0	基準適合	(B)合計	153	0	0	0	0	
○	(B)-(A')	8	0	0	0	0	○	(B)-(A')	48	0	0	0	0	
		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)			令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)	
高階南小	(A)	量の見込み(1-3年生)	56					霞ヶ関南小	量の見込み(1-3年生)	22				
		量の見込み(4-6年生)	20						量の見込み(4-6年生)	6				
		(A)合計	76	0	0	0	0		(A)合計	28	0	0	0	0
	(A')	実利用者数(1-3年生)	48					(A')	実利用者数(1-3年生)	35				
		実利用者数(4-6年生)	17						実利用者数(4-6年生)	9				
	(A')合計	65	0	0	0	0		(A')合計	44	0	0	0	0	
(B)	確保量(1-3年生)	77					(B)	確保量(1-3年生)	72					
	確保量(4-6年生)	28						確保量(4-6年生)	20					
基準適合	(B)合計	105	0	0	0	0	基準適合	(B)合計	92	0	0	0	0	
○	(B)-(A')	40	0	0	0	0	○	(B)-(A')	48	0	0	0	0	
		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)			令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)	
高階北小	(A)	量の見込み(1-3年生)	64					霞ヶ関北小	量の見込み(1-3年生)	78				
		量の見込み(4-6年生)	34						量の見込み(4-6年生)	36				
		(A)合計	98	0	0	0	0		(A)合計	114	0	0	0	0
	(A')	実利用者数(1-3年生)	63					(A')	実利用者数(1-3年生)	68				
		実利用者数(4-6年生)	33						実利用者数(4-6年生)	32				
	(A')合計	96	0	0	0	0		(A')合計	100	0	0	0	0	
(B)	確保量(1-3年生)	68					(B)	確保量(1-3年生)	116					
	確保量(4-6年生)	36						確保量(4-6年生)	54					
基準適合	(B)合計	104	0	0	0	0	基準適合	(B)合計	170	0	0	0	0	
○	(B)-(A')	8	0	0	0	0	○	(B)-(A')	70	0	0	0	0	

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)			令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
高階西小	(A)	量の見込み(1-3年生)	81				霞ヶ関東小	(A)	量の見込み(1-3年生)	48			
		量の見込み(4-6年生)	36						量の見込み(4-6年生)	7			
		(A)合計	117	0	0	0			(A)合計	55	0	0	0
	(A')	実利用者数(1-3年生)	64					(A')	実利用者数(1-3年生)	45			
		実利用者数(4-6年生)	28						実利用者数(4-6年生)	6			
	(A')合計	92	0	0	0		(A')合計	51	0	0	0		
基準適合	(B)	確保量(1-3年生)	86				基準適合	(B)	確保量(1-3年生)	45			
		確保量(4-6年生)	38						確保量(4-6年生)	7			
○	(B)合計	124	0	0	0	○	(B)合計	52	0	0	0		
	(B)-(A')	32	0	0	0		(B)-(A')	1	0	0	0		
		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)			令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
霞ヶ関西小	(A)	量の見込み(1-3年生)	100				広谷小	(A)	量の見込み(1-3年生)	50			
		量の見込み(4-6年生)	27						量の見込み(4-6年生)	16			
		(A)合計	127	0	0	0			(A)合計	66	0	0	0
	(A')	実利用者数(1-3年生)	102					(A')	実利用者数(1-3年生)	52			
		実利用者数(4-6年生)	27						実利用者数(4-6年生)	17			
	(A')合計	129	0	0	0		(A')合計	69	0	0	0		
基準適合	(B)	確保量(1-3年生)	108				基準適合	(B)	確保量(1-3年生)	75			
		確保量(4-6年生)	29						確保量(4-6年生)	24			
○	(B)合計	137	0	0	0	○	(B)合計	99	0	0	0		
	(B)-(A')	8	0	0	0		(B)-(A')	30	0	0	0		
		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)			令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
川越西小	(A)	量の見込み(1-3年生)	50				山田小	(A)	量の見込み(1-3年生)	97			
		量の見込み(4-6年生)	14						量の見込み(4-6年生)	30			
		(A)合計	64	0	0	0			(A)合計	127	0	0	0
	(A')	実利用者数(1-3年生)	48					(A')	実利用者数(1-3年生)	106			
		実利用者数(4-6年生)	13						実利用者数(4-6年生)	33			
	(A')合計	61	0	0	0		(A')合計	139	0	0	0		
基準適合	(B)	確保量(1-3年生)	77				基準適合	(B)	確保量(1-3年生)	127			
		確保量(4-6年生)	22						確保量(4-6年生)	39			
○	(B)合計	99	0	0	0	○	(B)合計	166	0	0	0		
	(B)-(A')	38	0	0	0		(B)-(A')	27	0	0	0		
		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)			令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
名細小	(A)	量の見込み(1-3年生)	83				民間放課後 児童クラブ	(A)	量の見込み(1-3年生)	34			
		量の見込み(4-6年生)	25						量の見込み(4-6年生)	6			
		(A)合計	108	0	0	0			(A)合計	40	0	0	0
	(A')	実利用者数(1-3年生)	84					(A')	実利用者数(1-3年生)	34			
		実利用者数(4-6年生)	25						実利用者数(4-6年生)	3			
	(A')合計	109	0	0	0		(A')合計	37	0	0	0		
基準適合	(B)	確保量(1-3年生)	96				基準適合	(B)	確保量(1-3年生)	39			
		確保量(4-6年生)	29						確保量(4-6年生)	3			
○	(B)合計	125	0	0	0	○	(B)合計	42	0	0	0		
	(B)-(A')	16	0	0	0		(B)-(A')	5	0	0	0		
		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)			令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
上戸小	(A)	量の見込み(1-3年生)	81				上戸小	(A)	量の見込み(1-3年生)	81			
		量の見込み(4-6年生)	26						量の見込み(4-6年生)	26			
		(A)合計	107	0	0	0			(A)合計	107	0	0	0
	(A')	実利用者数(1-3年生)	69					(A')	実利用者数(1-3年生)	69			
		実利用者数(4-6年生)	22						実利用者数(4-6年生)	22			
	(A')合計	91	0	0	0		(A')合計	91	0	0	0		
基準適合	(B)	確保量(1-3年生)	94				基準適合	(B)	確保量(1-3年生)	94			
		確保量(4-6年生)	30						確保量(4-6年生)	30			
○	(B)合計	124	0	0	0	○	(B)合計	124	0	0	0		
	(B)-(A')	33	0	0	0		(B)-(A')	33	0	0	0		

9. 地域子育て支援拠点事業の量の見込みと確保方策実績

<量の見込みと確保方策実績> 区域:12区域

評価基準:達成率90%以上:A、達成率70%以上90%未満:B、達成率70%未満:C、事業実績なし:D、事業終了:E

※人数は利用延べ人数

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
合計	量の見込み(A)	96,816	0	0	0	0
	実利用人数(A')※	28,483	0	0	0	0
	確保量(B)	92,702	0	0	0	0
	(実施施設数)	24	0	0	0	0
	(B)-(A)	▲ 4,114	0	0	0	0
	(B)-(A')	64,219	0	0	0	0
評価		A				

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
本庁	量の見込み(A)	44,590				
	実利用人数(A')※	11,079				
	確保量(B)	44,590				
	(実施施設数)(箇所)	8				
	(B)-(A)	0	0	0	0	0
	(B)-(A')	33,511	0	0	0	0
芳野	量の見込み(A)	1,483				
	実利用人数(A')※	683				
	確保量(B)	1,483				
	(実施施設数)(箇所)	1				
	(B)-(A)	0	0	0	0	0
	(B)-(A')	800	0	0	0	0
古谷	量の見込み(A)	2,132				
	実利用人数(A')※	688				
	確保量(B)	2,132				
	(実施施設数)(箇所)	1				
	(B)-(A)	0	0	0	0	0
	(B)-(A')	1,444	0	0	0	0

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
南古谷	量の見込み(A)	2,688				
	実利用人数(A')※	558				
	確保量(B)	2,688				
	(実施施設数)(箇所)	1				
	(B)-(A)	0	0	0	0	0
	(B)-(A')	2,130	0	0	0	0
高階	量の見込み(A)	7,138				
	実利用人数(A')※	3,237				
	確保量(B)	7,138				
	(実施施設数)(箇所)	2				
	(B)-(A)	0	0	0	0	0
	(B)-(A')	3,901	0	0	0	0
福原	量の見込み(A)	4,172				
	実利用人数(A')※	1,737				
	確保量(B)	4,172				
	(実施施設数)(箇所)	2				
	(B)-(A)	0	0	0	0	0
	(B)-(A')	2,435	0	0	0	0
大東	量の見込み(A)	12,144				
	実利用人数(A')※	4,201				
	確保量(B)	12,144				
	(実施施設数)(箇所)	2				
	(B)-(A)	0	0	0	0	0
	(B)-(A')	7,943	0	0	0	0
霞ヶ関	量の見込み(A)	10,012				
	実利用人数(A')※	3,453				
	確保量(B)	10,012				
	(実施施設数)(箇所)	3				
	(B)-(A)	0	0	0	0	0
	(B)-(A')	6,559	0	0	0	0
霞ヶ関北	量の見込み(A)	2,846				
	実利用人数(A')※	(675)				
	確保量(B)	0				
	(実施施設数)(箇所)	0				
	(B)-(A)	▲ 2,846	0	0	0	0
	(B)-(A')	675	0	0	0	0

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
名細	量の見込み(A)	7,601				
	実利用人数(A')※	2,607				
	確保量(B)	7,601				
	(実施施設数)(箇所)	3				
	(B)-(A)	0	0	0	0	0
	(B)-(A')	4,994	0	0	0	0
山田	量の見込み(A)	742				
	実利用人数(A')※	240				
	確保量(B)	742				
	(実施施設数)(箇所)	1				
	(B)-(A)	0	0	0	0	0
	(B)-(A')	502	0	0	0	0
川鶴	量の見込み(A)	1,268				
	実利用人数(A')※	(273)				
	確保量(B)	0				
	(実施施設数)(箇所)	0				
	(B)-(A)	▲ 1,268	0	0	0	0
	(B)-(A')	273	0	0	0	0

※実利用人数は、当該地区施設の延べ利用人数(市内他地区在住者利用を含む)